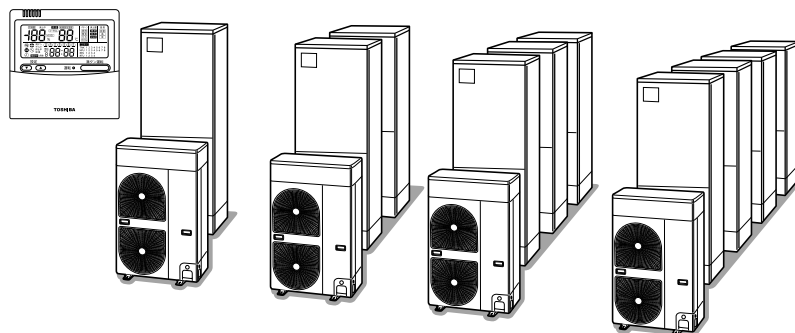


東芝業務用ヒートポンプ給湯機 取扱説明書

ほっとパワーエコ BIG III



形名

システム形名

HW1T ※-3	HW5T ※-3
HW2T ※-3	HW6T ※-3
HW3T ※-3	HW7T ※-3
HW4T ※-3	HW8T ※-3

システム形名※：貯湯タンクユニット連結数（1：1連結、2：2連結、3：3連結、4：4連結）
ダブル給湯タイプは、末尾に「W」追加。
形名については3ページをご覧ください。

ヒートポンプユニット

HWS-1504H

メイン貯湯タンクユニット

HWS-M564T HWS-M564TW

サブ貯湯タンクユニット リモコン

HWS-S564T HWS-63SR

再加熱ヒートポンプユニット（オプション）

HWS-454HP（循環回路保温用）

HWS-454HT（タンク保温用）

※ ご使用の前にお買い上げいただきました機器の形名をお確かめください。

- このたびは東芝業務用ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書、据付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。

お願い

東芝業務用ヒートポンプ給湯機は外気温が低くなると圧縮機保護、および水配管の凍結防止のため自動的に動作しますので、常時電源、漏電遮断器を入れたままご使用ください。

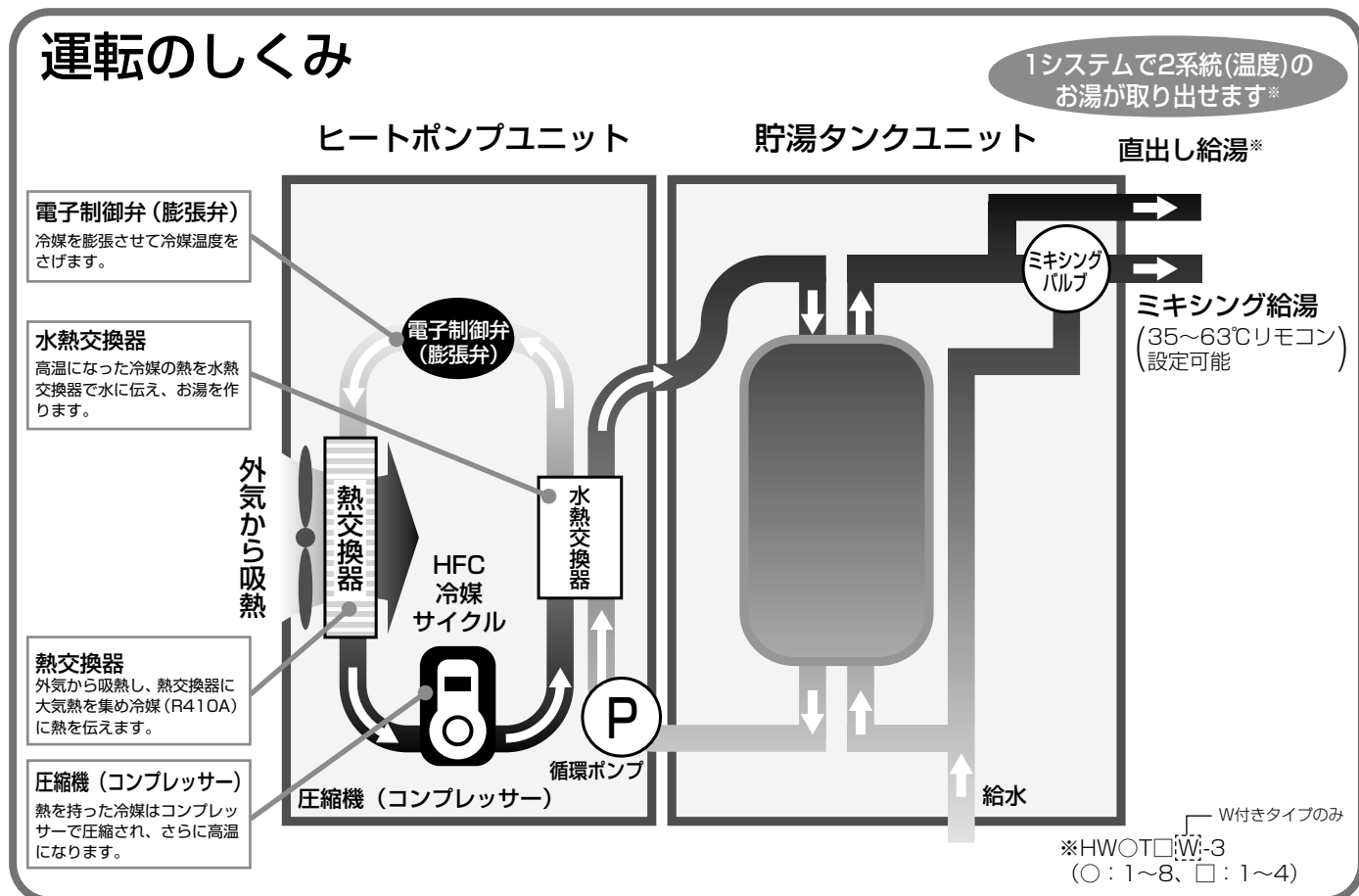
もくじ

知っておいてください	2
ヒートポンプ給湯機とは	2
機器の組み合わせ	3
安全上のご注意	6
各部のなまえ	9
使いかた	15
運転のしかた	15
現在時刻の合わせかた	16
給湯パターンの設定	17
沸き上げ量の設定	18
温度の設定	19
給湯温度の設定	20
デマンドの設定	21
休日設定	22
停止日数設定	23
満タン運転の設定	24
アラーム停止	25
保温	26
保温設定	27
安全点検	29
凍結防止について	30
通水後お使いにならないとき	30
お手入れのしかた	32
定期点検のおすすめ	33
エラーの表示と処理のしかた	34
非常時の取水方法	35
このようなときには	36
仕様	37
保証とアフターサービス	40

知っておいてください

ヒートポンプ給湯機とは

運転のしくみ



- ヒートポンプ給湯機は、ヒートポンプの原理でお湯を沸かし、貯湯タンクユニットに貯めておいて給湯に利用するものです。
- この機器は深夜電力契約では使用できません。電力会社と業務用電力契約を結びお使いください。

給湯口の温度設定について

- ほっとパワーエコBIGⅢは、1システムで1系統(ミキシング給湯)のお湯が取り出せる「標準タイプ」と2系統(ミキシング給湯・直出し給湯)のお湯が取り出せる「ダブル給湯タイプ」の2タイプあります。
 - ① 給湯口は、リモコンの設定により35~63℃に設定(ミキシング給湯)ができます。
 - ② 直出し給湯口はタンク内のお湯がそのまま給湯されます。

機器の組み合わせ

標準タイプ(1系統(ミキシング給湯)のお湯が取り出せるタイプ)

システム形名	加熱能力	貯湯量	ヒートポンプユニット	メイン貯湯タンクユニット	サブ貯湯タンクユニット	リモコン
HW1T1-3	15kW	560L	HWS-1504H × 1台	HWS-M564T × 1台	HWS-S564T × 0台	HWS-63SR × 1台
HW1T2-3	15kW	1120L			HWS-S564T × 1台	
HW1T3-3	15kW	1680L			HWS-S564T × 2台	
HW1T4-3	15kW	2240L			HWS-S564T × 3台	
HW2T1-3	30kW	1120L	HWS-1504H × 2台	HWS-M564T × 2台	HWS-S564T × 0台	
HW2T2-3	30kW	2240L			HWS-S564T × 2台	
HW2T3-3	30kW	3360L			HWS-S564T × 4台	
HW2T4-3	30kW	4480L			HWS-S564T × 6台	
HW3T1-3	45kW	1680L	HWS-1504H × 3台	HWS-M564T × 3台	HWS-S564T × 0台	
HW3T2-3	45kW	3360L			HWS-S564T × 3台	
HW3T3-3	45kW	5040L			HWS-S564T × 6台	
HW3T4-3	45kW	6720L			HWS-S564T × 9台	
HW4T1-3	60kW	2240L	HWS-1504H × 4台	HWS-M564T × 4台	HWS-S564T × 0台	
HW4T2-3	60kW	4480L			HWS-S564T × 4台	
HW4T3-3	60kW	6720L			HWS-S564T × 8台	
HW4T4-3	60kW	8960L			HWS-S564T × 12台	
HW5T1-3	75kW	2800L	HWS-1504H × 5台	HWS-M564T × 5台	HWS-S564T × 0台	
HW5T2-3	75kW	5600L			HWS-S564T × 5台	
HW5T3-3	75kW	8400L			HWS-S564T × 10台	
HW5T4-3	75kW	11200L			HWS-S564T × 15台	
HW6T1-3	90kW	3360L	HWS-1504H × 6台	HWS-M564T × 6台	HWS-S564T × 0台	
HW6T2-3	90kW	6720L			HWS-S564T × 6台	
HW6T3-3	90kW	10080L			HWS-S564T × 12台	
HW6T4-3	90kW	13440L			HWS-S564T × 18台	
HW7T1-3	105kW	3920L	HWS-1504H × 7台	HWS-M564T × 7台	HWS-S564T × 0台	
HW7T2-3	105kW	7840L			HWS-S564T × 7台	
HW7T3-3	105kW	11760L			HWS-S564T × 14台	
HW7T4-3	105kW	15680L			HWS-S564T × 21台	
HW8T1-3	120kW	4480L	HWS-1504H × 8台	HWS-M564T × 8台	HWS-S564T × 0台	
HW8T2-3	120kW	8960L			HWS-S564T × 8台	
HW8T3-3	120kW	13440L			HWS-S564T × 16台	
HW8T4-3	120kW	17920L			HWS-S564T × 24台	

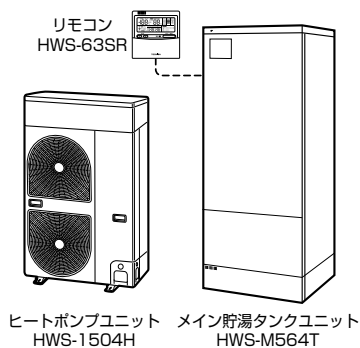
知っておいてください (つづき)

ダブル給湯タイプ(2系統(ミキシング給湯・直出し給湯)のお湯が取り出せるタイプ)

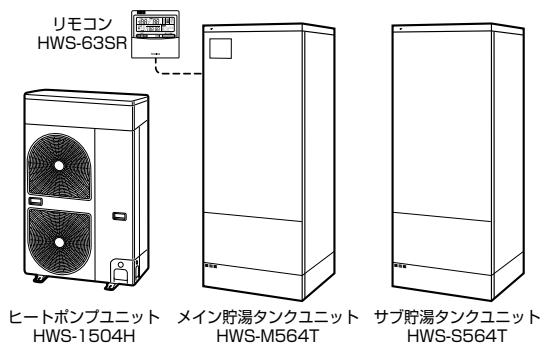
システム形名	加熱能力	貯湯量	ヒートポンプユニット	メイン貯湯タンクユニット	サブ貯湯タンクユニット	リモコン
HW1T1W-3	15kW	560L	HWS-1504H × 1台	HWS-M564TW × 1台	HWS-S564T × 0台	HWS-63SR × 1台
HW1T2W-3	15kW	1120L			HWS-S564T × 1台	
HW1T3W-3	15kW	1680L			HWS-S564T × 2台	
HW1T4W-3	15kW	2240L			HWS-S564T × 3台	
HW2T1W-3	30kW	1120L	HWS-1504H × 2台	HWS-M564TW × 2台	HWS-S564T × 0台	
HW2T2W-3	30kW	2240L			HWS-S564T × 2台	
HW2T3W-3	30kW	3360L			HWS-S564T × 4台	
HW2T4W-3	30kW	4480L			HWS-S564T × 6台	
HW3T1W-3	45kW	1680L	HWS-1504H × 3台	HWS-M564TW × 3台	HWS-S564T × 0台	
HW3T2W-3	45kW	3360L			HWS-S564T × 3台	
HW3T3W-3	45kW	5040L			HWS-S564T × 6台	
HW3T4W-3	45kW	6720L			HWS-S564T × 9台	
HW4T1W-3	60kW	2240L	HWS-1504H × 4台	HWS-M564TW × 4台	HWS-S564T × 0台	
HW4T2W-3	60kW	4480L			HWS-S564T × 4台	
HW4T3W-3	60kW	6720L			HWS-S564T × 8台	
HW4T4W-3	60kW	8960L			HWS-S564T × 12台	
HW5T1W-3	75kW	2800L	HWS-1504H × 5台	HWS-M564TW × 5台	HWS-S564T × 0台	
HW5T2W-3	75kW	5600L			HWS-S564T × 5台	
HW5T3W-3	75kW	8400L			HWS-S564T × 10台	
HW5T4W-3	75kW	11200L			HWS-S564T × 15台	
HW6T1W-3	90kW	3360L	HWS-1504H × 6台	HWS-M564TW × 6台	HWS-S564T × 0台	
HW6T2W-3	90kW	6720L			HWS-S564T × 6台	
HW6T3W-3	90kW	10080L			HWS-S564T × 12台	
HW6T4W-3	90kW	13440L			HWS-S564T × 18台	
HW7T1W-3	105kW	3920L	HWS-1504H × 7台	HWS-M564TW × 7台	HWS-S564T × 0台	
HW7T2W-3	105kW	7840L			HWS-S564T × 7台	
HW7T3W-3	105kW	11760L			HWS-S564T × 14台	
HW7T4W-3	105kW	15680L			HWS-S564T × 21台	
HW8T1W-3	120kW	4480L	HWS-1504H × 8台	HWS-M564TW × 8台	HWS-S564T × 0台	
HW8T2W-3	120kW	8960L			HWS-S564T × 8台	
HW8T3W-3	120kW	13440L			HWS-S564T × 16台	
HW8T4W-3	120kW	17920L			HWS-S564T × 24台	

機器の組み合わせ例

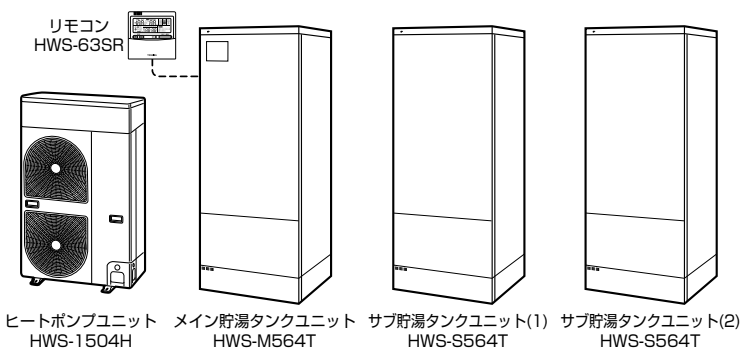
HW1T1-3



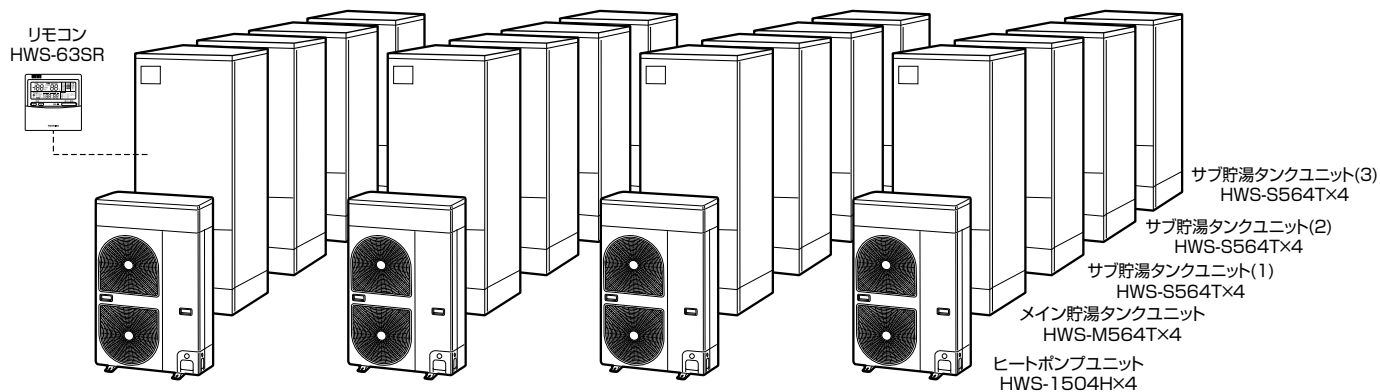
HW1T2-3(連結タイプ)



HW1T3-3(連結タイプ)



HW4T4-3(連結タイプ)





安全上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。
記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

■表示の説明




表 示	表 示 の 意 味
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定される内容”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定される内容”を示します。

＊１：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

＊２：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図記号	図 記 号 の 意 味
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	△は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

■据え付け前の注意事項

⚠ 警告

据え付け・配管・電気工事は、必ずお買い上げの販売店
または工事店に依頼する

ご自分で据付工事をされますと、火災・感電・
水漏れの原因になります。



製品を改造しない

また、部品も分解・改造しない。
火災・感電・けがの原因になります。



リモコンケーブルなどは、別売品(東芝製品)を使用する
純正以外の部品を使うと、事故・故障の原因になります。



⚠ 注意

水は水道法に規定された水質基準に適合する水を使用する(井戸水・地下水・温泉水は使用しない)
腐食による水漏れや配管詰まりによる故障の原因になります。



■据え付け後の注意事項

⚠ 警告

アース工事がされているか確認する

故障や漏電のときに感電の原因になります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。



機器の近くにガス類や引火物が置かれていない
ことを確認する

発火の原因になります。



ヒートポンプユニット・再加熱ヒートポンプユニットが屋内に設置されていないことを確認する
万一冷媒が漏れると、酸欠により死亡または重傷(脳機能傷害など)に至ることがあります。



⚠ 注意

ヒートポンプユニット・貯湯タンクユニット・再加熱ヒートポンプユニットを設置する床面が排水処理されているか確認する
水漏れが起きた場合、大きな被害の原因になります。



固定脚がアンカーボルトで固定してあるか確認する
地震などが発生した場合、本体が倒れてけがをすることがあります。



⚠ 注意

凍結防止対策を確認する

凍結したとき、配管が破損してやけどをすることがあります。



施行確認

機器・リモコンが浴室など湿気の多いところに
取り付けられていないことを確認する

火災・感電の原因になります。



施行確認

リモコンが直射日光の当たるところ、屋外やガステーブルの上部など高温になるところに取り付けられていないことを確認する

変色、変形、火災の原因になります。



施行確認

ヒートポンプユニット・再加熱ヒートポンプユニットが隣家に
配慮した場所に設置されていることを確認する

運転音や振動が伝わり隣家に被害を与える場合があります。



施行確認

ヒートポンプユニット・再加熱ヒートポンプユニットがキッチンの換気扇の近くに設置されていないことを確認する
油分の付着や排気により、性能低下や故障の原因になります。



施行確認

■使用上の注意事項

⚠ 警告

機器の近くにガス類や引火物を置かない
発火の原因になります。



禁 止

貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニットの
前面パネルは開けない

感電の原因になります。



禁 止

給湯・排水時は熱湯が出るおそれがあるので、
やけどに注意する

給湯栓を開いた直後は水が出ますがすぐに
熱湯に変わります。



手をふれない

給湯時は給湯栓本体に手を触れない

やけどをすることがあります。朝、最初に給湯栓
を開くときに蒸気が吹き出ることがあります。
給湯栓は少しずつ開いてください。



手をふれない

ヒートポンプ配管および接続口には手を触れない
やけどをすることがあります。



手をふれない

ヒートポンプユニット・再加熱ヒートポンプ
ユニットの熱交換器のフィンには手を触れない
けがをすることがあります。



手をふれない

ヒートポンプユニット・再加熱ヒートポンプユニットの空気吸入口・吹出口に棒や手を入れない
内部でファンが回転していますので、けがをすることがあります。



禁 止

⚠ 注意

そのまま飲用しない

長期間のご使用によって貯湯タンクユニット内に水あかがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。
飲用される場合は、下記の点に注意し、飲用に適した水質であることを確認した上、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてから
にしてください。

- ・必ず水道法の水質基準に適合した水を使用してください。
- ・熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は、飲用に使用せず、雑用水としてお使いください。
- ・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行なってください。



水質確認・
沸騰後飲用

積雪時には除雪する

誤作動や故障の原因になります。



除 雪

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

機器の上に乗ったり、配管に力を加えない
機器が転倒したり、配管が破損してやけどなどの
事故の原因になります。とくに、幼児・子供に注意
してください。



禁止

ヒートポンプユニット・再加熱ヒートポンプユニットの
周囲に通風の妨げになるものを置かない
通風が妨げられると性能低下や故障の原因になります。



禁止

■点検・お手入れの注意事項

⚠ 警告

元電源の漏電遮断器の動作を確認する
漏電遮断器が故障のまま使用すると、
漏電のときに感電の原因になります。



動作点検

貯湯タンクユニットの逃し弁点検時には
逃し弁や排水管に手を触れない
やけどをすることがあります。



手をふれない

⚠ 注意

貯湯タンクユニットの逃し弁を点検する
点検しないと貯湯タンクユニットや配管が破損したり
逃し弁から水漏れしたりすることがあります。



動作点検

貯湯タンクユニットの水抜き時は熱湯を直接排
水しない
やけどや排水管破損の原因になります。給湯をおこな
いお湯を使いきってから排水してください。



熱湯排水禁止

1ヵ月以上使用しないときは元電源の漏電遮断器
を「切」にして貯湯タンクユニットの排水をする
水質が変化することがあります。



水抜き

水漏れを点検する
とくに漏水が階下へ被害を与える場所への設置の
場合は日常点検してください。



漏水点検

■移設・修理などの警告

⚠ 警告

修理はお買い上げの販売店に依頼するか、業務用
ヒートポンプ給湯機修理ご相談窓口へ連絡する
修理に不備があると火災・感電などの
原因になることがあります。



依頼する

移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店
または専門業者に依頼する
据え付けに不備があると火災・感電・けが・
水漏れなどの原因になります。



移設を依頼する

指定冷媒以外は使用(冷媒補充・入替え)しない
指定冷媒以外を使用した場合、機器の故障や破裂、けがなどの原因になります。



禁止

■異常時の警告

⚠ 警告

異常時(こげ臭い、過圧防止弁からの水漏れなど)は、元電源の漏電遮断器のレバーを下げて電源を「切」にして、
お買い上げの販売店または業務用ヒートポンプ給湯器修理ご相談窓口へ連絡する
異常のまま使用されますと、故障や感電・火災の原因になります。



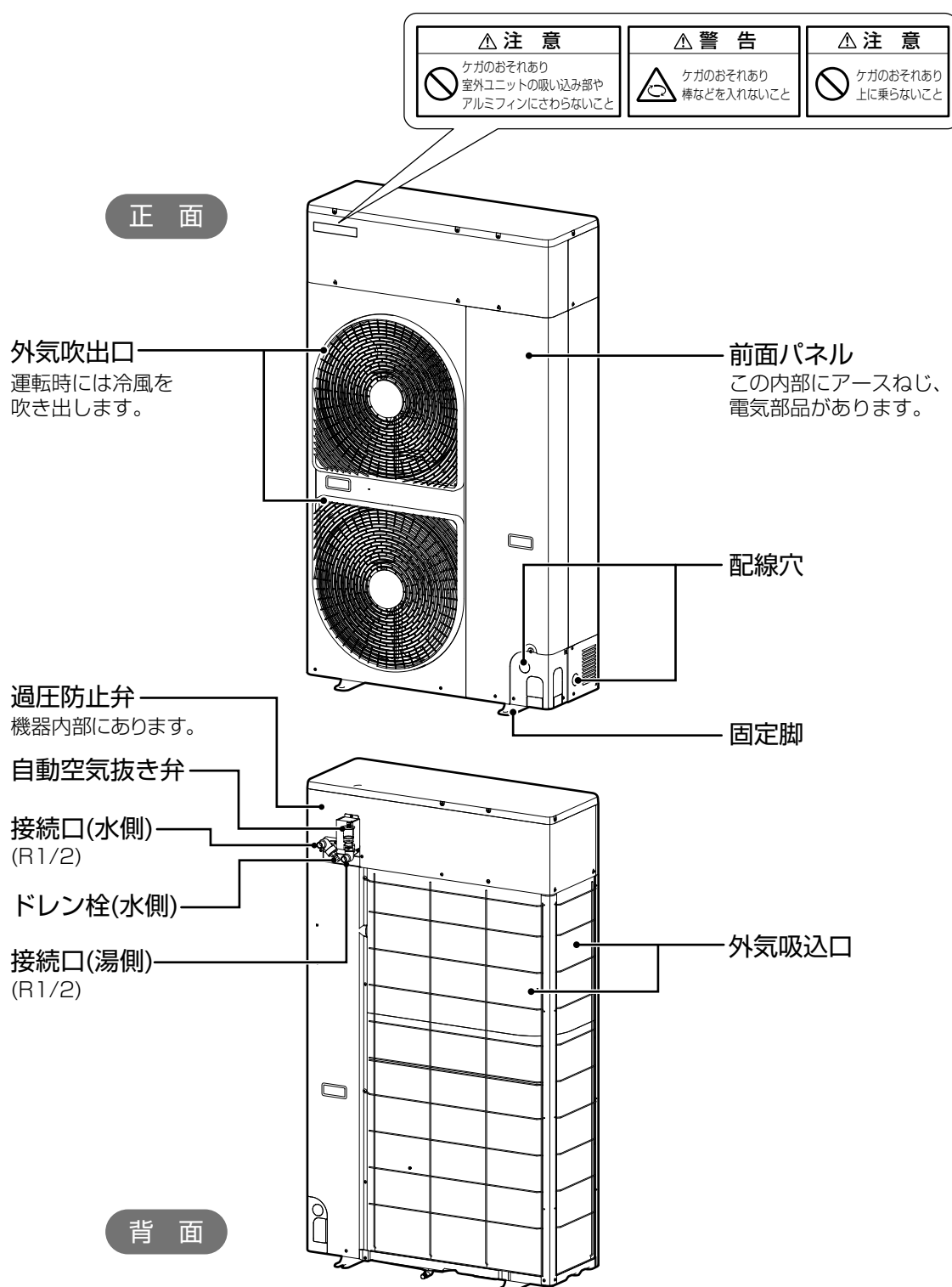
電源を切る

各部のなまえ

- この機器は主にお湯の使用量に応じて自動的にお湯を沸かし、貯湯タンクユニットに貯めておいて必要なときに利用するものです。
- アースは、万一漏電した場合、電気を大地に逃がすため、機器のアース端子と地中に埋設されたアース棒または、家屋に取り付けられたアース端子を、アース線で接続することにより構成されます。
- 貯湯タンクユニットに「安全上のご注意ラベル」が貼り付けてありますのでお読みいただき、確認してください。

ヒートポンプユニット

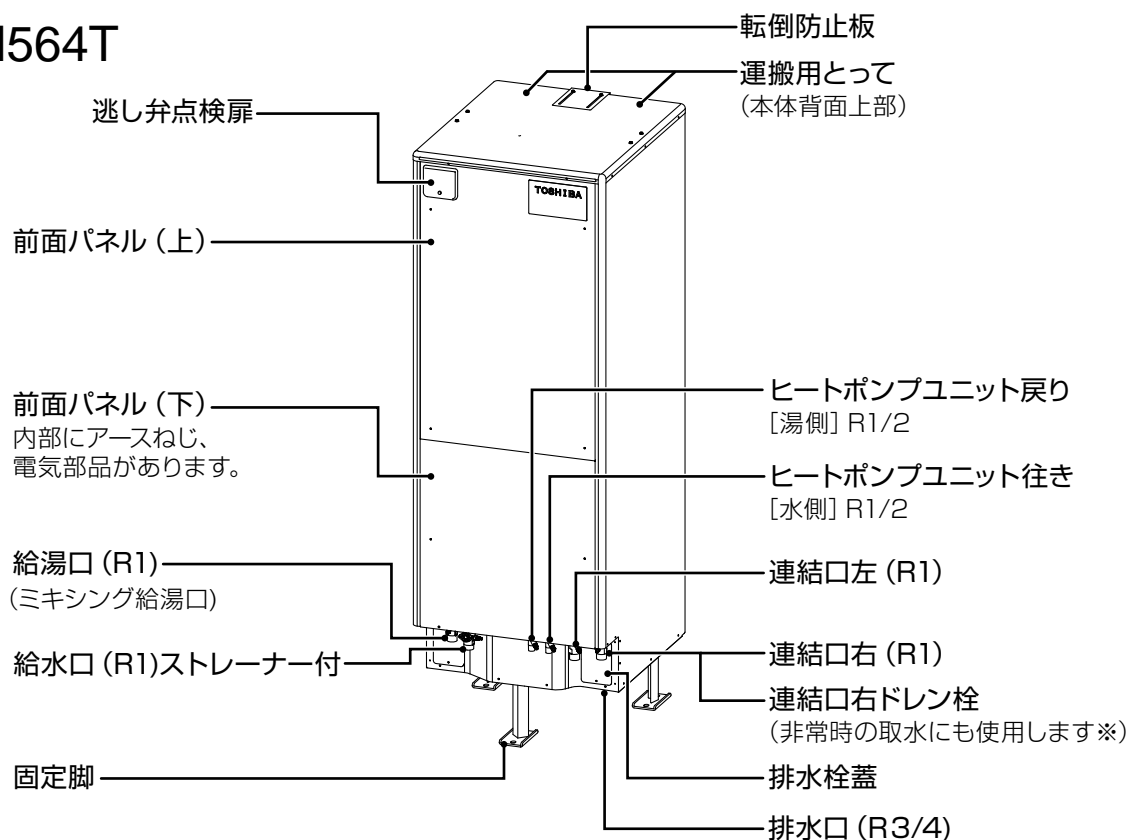
HWS-1504H



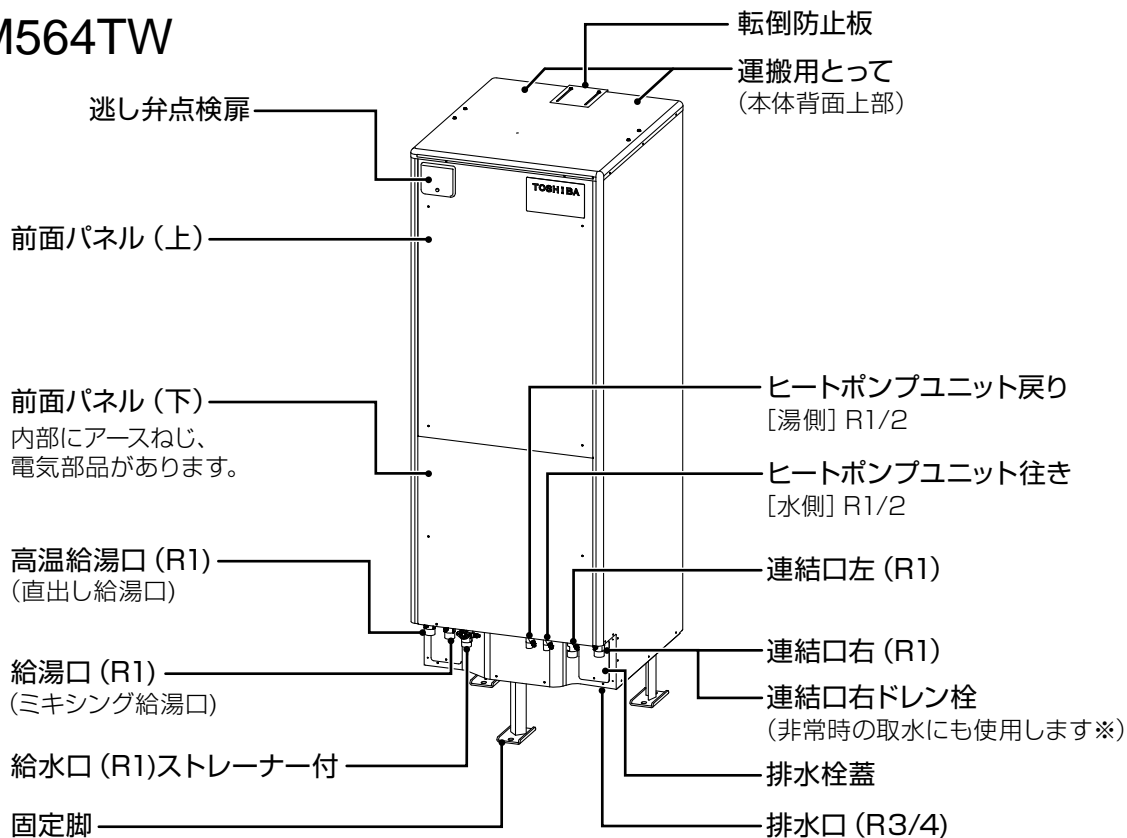
各部のなまえ (つづき)

メイン貯湯タンクユニット

HWS-M564T



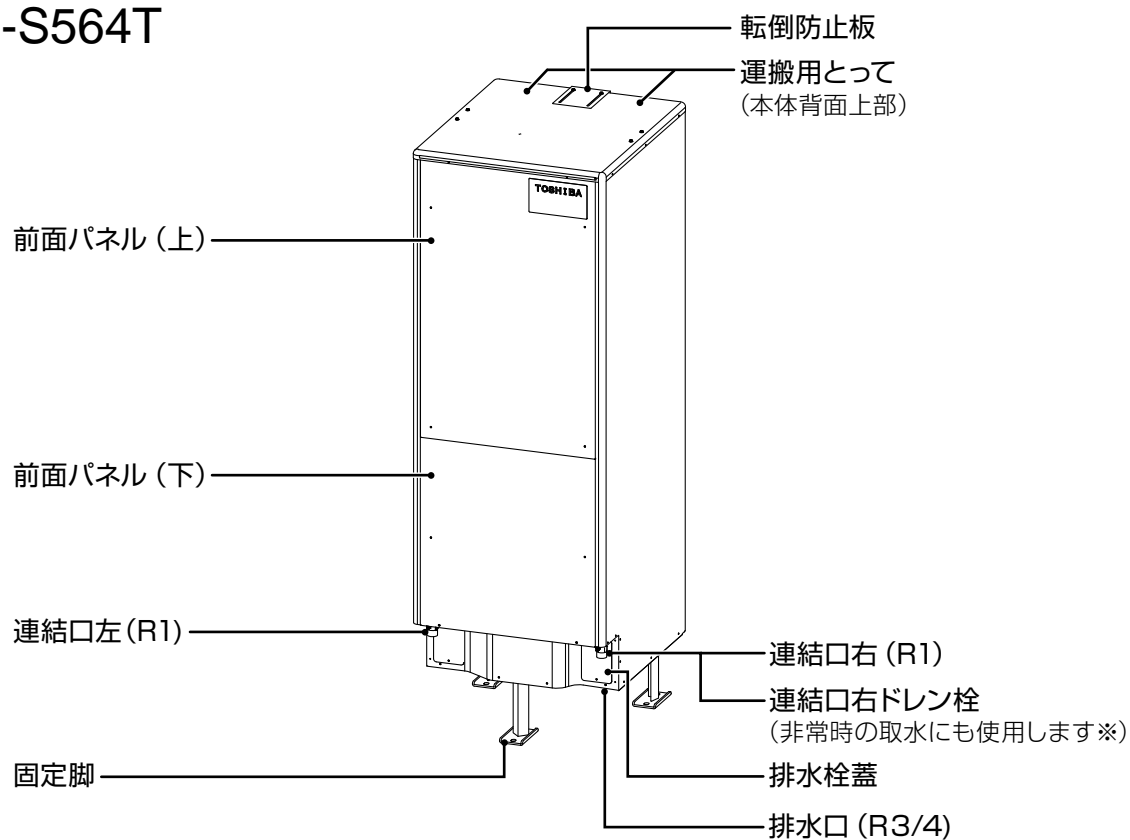
HWS-M564TW



※ 非常時の取水方法は35ページをご覧ください。

サブ貯湯タンクユニット

HWS-S564T



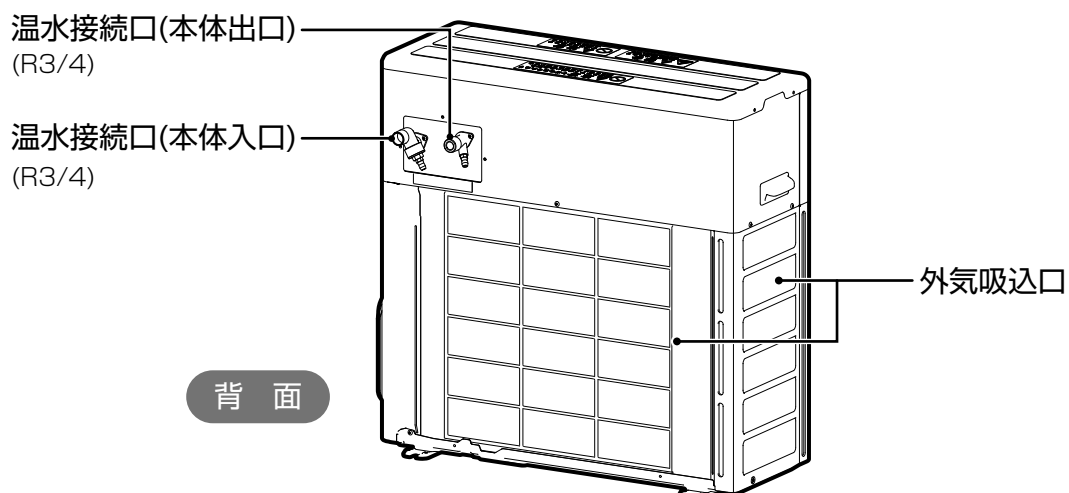
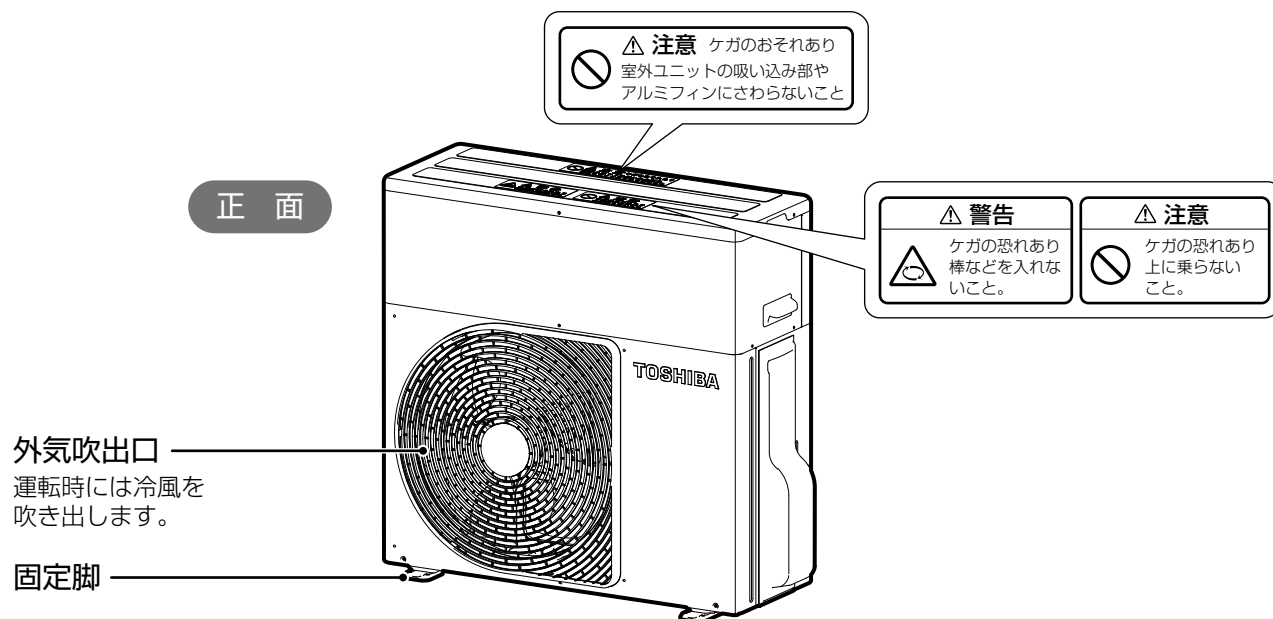
※ 非常時の取水方法は35ページをご覧ください。

各部のなまえ (つづき)

再加熱ヒートポンプユニット (オプション)

HWS-454HP (循環回路保温用)

HWS-454HT (タンク保温用)



リモコン

操作部

※表示部は説明のために、すべての表示を示してあります。

※1
「アラーム停止」ボタン
異常時の警報音を停止します。
警報音とボタン操作音のあり/なしを設定します。

「設定▼▲」ボタン
温度、時刻などの設定をします。

「時刻設定」ボタン
西暦・月日・時刻を設定します。

「設定◀▶」ボタン
設定時の設定対象を切替えます。

「確定」ボタン
各種設定・変更時の確定をします。

※1
「戻る」ボタン
設定中に通常状態に戻る
異常リセット、異常履歴リセット

「休日設定」ボタン
お湯を使用しない曜日を設定します。

「デマンド」ボタン
任意時刻の運転台数を制限設定します。

「給湯温度」ボタン
貯湯タンクユニットから出る給湯温度(35~63℃)を設定します。

「満タン運転」ボタン
満タン運転の設定/解除

「運転/停止」ボタン
システムの運転/停止

「沸上量/温度」ボタン
昼間の沸き上げ量補正/沸き上げ温度を設定します。

「保温」ボタン
再加熱ヒートポンプユニットの運転/停止を設定します。

「給湯パターン」ボタン
お湯の使用パターンを選択します。

「保温設定」ボタン
再加熱ヒートポンプユニットの保温温度/運転時間帯を設定します。

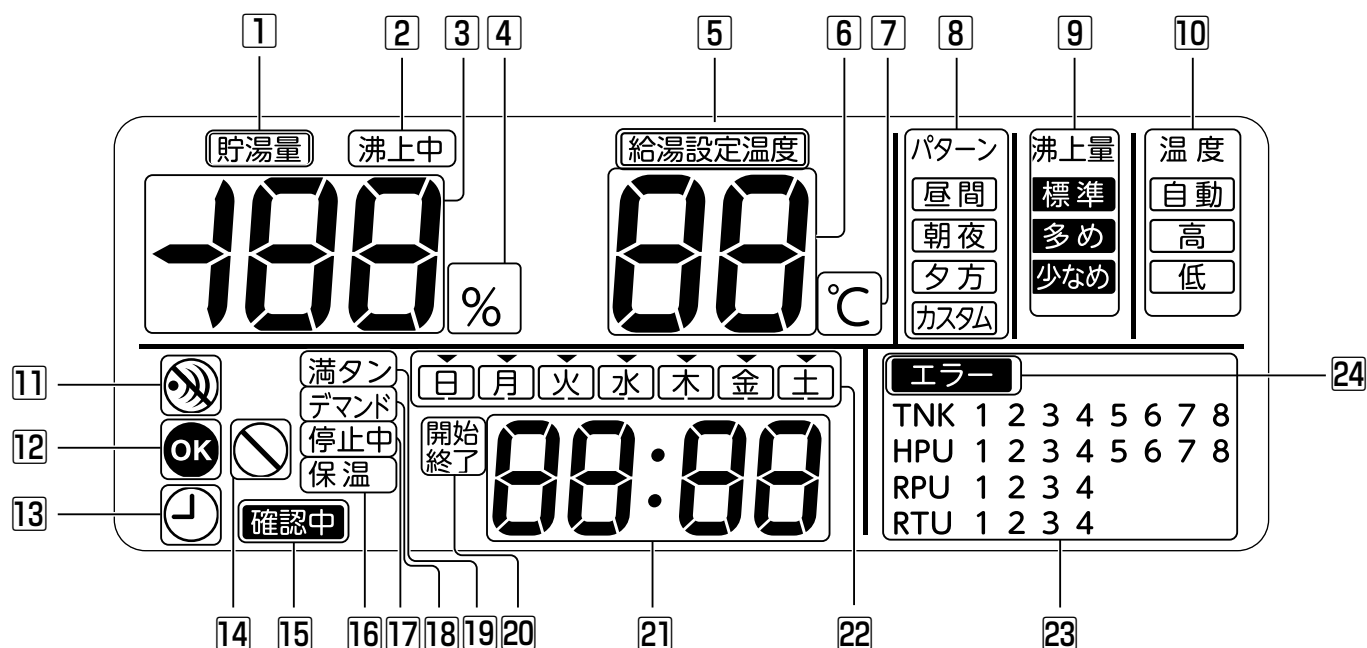
「停止日数」ボタン
お湯を使用しない連休日数を設定します。

「点検」ボタン
サービスマン用のボタンですの
でお客様の操作は不要です。

※1：子リモコンでは「アラーム停止」ボタンと「戻る」ボタンのみの操作となります。(子リモコンが取り付けられている場合)

各部のなまえ (つづき)

表示部

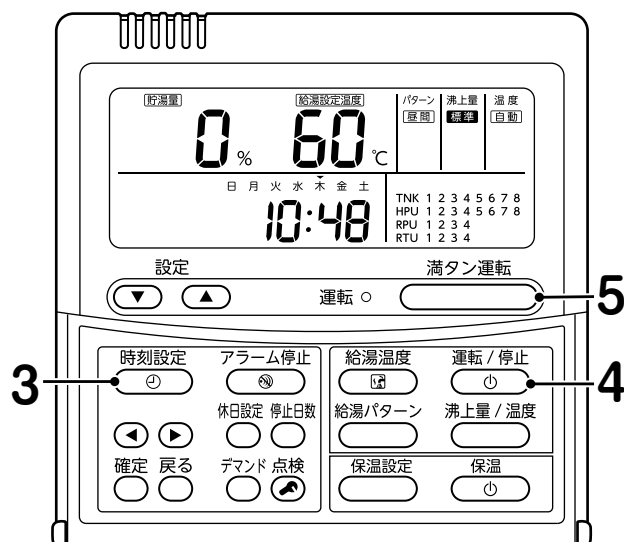


1	通常貯湯量(%)表示中に点灯します。	15	接続している制御器との通信中に一時点灯します。
2	ヒートポンプユニット沸き上げ中(沸き上げ信号受信時)に点灯します。	16	再加熱ヒートポンプユニットによる保温運転設定中に点灯します。
3	貯湯量表示部 通常時 : 接続制御器からの貯湯量データを点灯表示します。	17	停止日数設定でシステム停止させた場合に、停止日数(時刻表示部7セグ)と合わせて点灯表示します。
4	貯湯量(%)表示中に点灯します。	18	デマンド運転設定時に点灯します。
5	給湯設定温度(°C)表示中に点灯します。	19	満タン運転時に点灯します。
6	給湯温度表示部 通常時 : 給湯口からの出湯温度を表示します(目安)	20	開始時刻と終了時刻を設定するときにそれぞれ設定する内容を点灯します。
7	給湯設定温度(°C)表示中に点灯します。	21	時刻表示 : 通常時は時刻表示。異常発生時は異常コード表示。履歴確認中は日付表示。時刻設定中には西暦・月日・時刻表示。
8	給湯パターン設定表示 設定している給湯パターンを点灯表示します。 ※ 1	22	曜日表示 : 現在の曜日、設定曜日は▼ 休日設定曜日は“□枠”を表示します。
9	沸き上げ量設定表示 設定している沸き上げ量を点灯表示します。 ※ 1	23	ユニット情報表示 通常時は接続しているユニット名とユニット番号を点灯。異常時は異常発生ユニット名とユニット番号を点滅。点検モード中は対象のユニット名とユニット番号が点灯します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> TNK : メイン貯湯タンクユニット HPU : ヒートポンプユニット RPU : 再加熱ヒートポンプユニット(循環回路保温用) RTU : 再加熱ヒートポンプユニット(タンク保温用) </div>
10	沸き上げ温度設定表示 設定している沸き上げ温度を点灯表示します。 ※ 1		
11	アラーム音をならない設定にしたときに点灯します。		
12	設定が正常に完了した場合に一時点灯します。 ※給湯設定温度、給湯パターン、沸き上げ量、沸き上げ温度設定時は点灯しません。		
13	時刻設定中に点灯します。	24	異常発生時に異常コードなどとあわせて点滅します。
14	ボタン操作受付拒否時などに一時点灯します。		

※ 1 : 子リモコンには表示されません。(子リモコンが取り付けられている場合)

使いかた

運転のしかた



設定手順

1. タンクを満水にする

据付時は、ヒートポンプユニットのエア抜きを実施してください

(据付説明書25ページ、27ページを参照ください。)

2. 機器の元電源を「入」にする

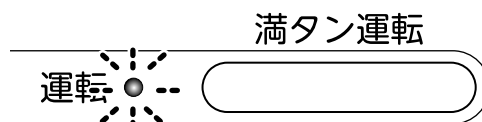
3. 現在時刻と曜日を設定する

- 設定・変更のしかたは、現在時刻の合わせかた(16ページ)を参照願います。正しく設定しないと湯切れなどの不具合が発生することがあります。

※出荷状態は「西暦2010年10月1日12時00分」です。

4. 「運転/停止」ボタンを押す

- 運転を選択した場合、LEDが点灯し運転を開始します。



5. 「満タン運転」ボタンを押す

- 貯湯量100%になるまで強制的に沸き上げたあと自動的に沸き上げを停止します。その後は貯湯量を監視して、お湯切れしないように沸き上げ運転します。(基本は夜間優先)

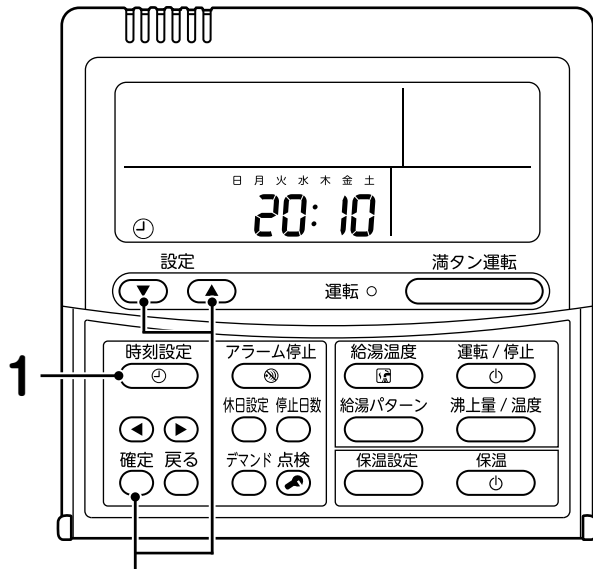
お知らせ

- 諸条件にもよりますが、沸き上げ量の目安は、65℃沸き上げで約200L/Hです。
- 7月1日～9月30日13:00～16:00は、あらかじめデマンドが設定され運転台数が制限されています。試運転のため、全数運転させる場合は現在時刻または、日付を変更して実施し、終了後に時刻を再設定してください。

使いかた (つづき)

現在時刻の合わせかた

- 現在時刻は、西暦および24時間表示で登録します。
 - 工場出荷状態は、西暦2010年10月1日12時00分となっていますので、必ず現在時刻の設定を行ってからご使用ください。
- 例) 西暦2014年11月30日15時39分に合わせることで説明します。



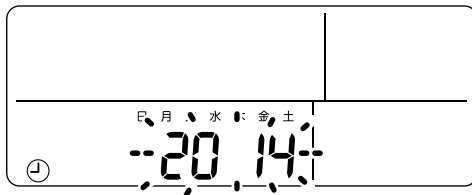
2・3・4・5

設定手順

1. 「時刻設定」ボタンを押す

2. 西暦を設定する

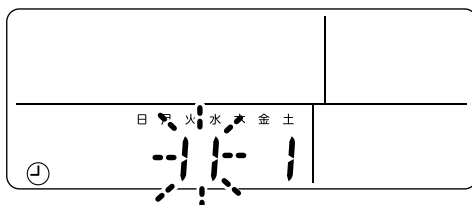
- 西暦を2014に合わせます。
- 設定ボタン「▲」を押すと1年ずつ進み、設定ボタン「▼」を押すと1年ずつ戻ります。



- 西暦を、2014に合わせたら、「確定」ボタンを押します。

3. 月を設定する

- 設定ボタン「▲/▼」を押し、月を11月に合わせます。



- 月を、11に合わせたら、「確定」ボタンを押します。

4. 日を設定する

- 設定ボタン「▼/▲」を押し、日を30日に合わせます。

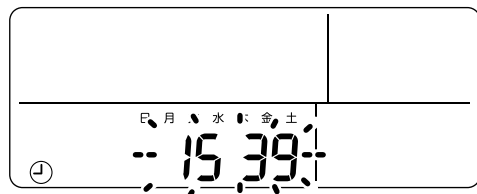


※ 曜日は、月日の設定より自動に設定されます。

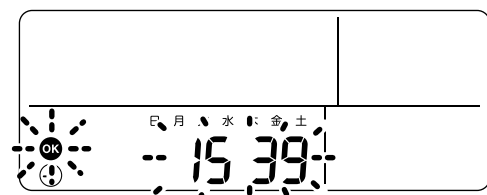
- 日を、30に合わせたら、「確定」ボタンを押します。

5. 時刻を設定する

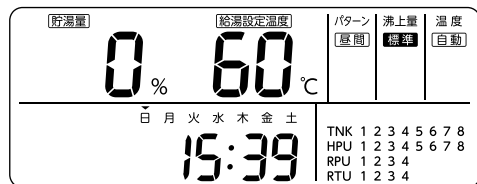
- 設定ボタン「▼/▲」を押し、時刻を15時39分に合わせます。
- ※ 「▼」または「▲」長押しで10分ずつ増減します。



- 時刻を、15:39に合わせたら、「確定」ボタンを押します。



※ 時刻設定が完了すると『OK』マークが3秒間表示されます。



※ 『OK』マークが消えると使用中の表示になり、設定した時刻が表示されます。西暦と月日は表示されません。

お知らせ

- 設定中に15秒以上のボタン操作が無い場合は、通常の画面に戻りそれまでの設定内容は記憶されません。再度時刻設定する場合は、設定手順1.から行ってください。
- 設定途中で一つ前の状態に戻す場合は「戻る」ボタンを押してください。

給湯パターンの設定

- 給湯パターンの設定は、4パターンあります。ご使用状況により選択してください。

表示	給湯パターン(想定される使用状況)
昼間	給湯が昼間まんべんなく使用される傾向多い福祉施設・病院・給食施設などを想定
朝夜	給湯が朝と夜に集中的に使われるホテル・スポーツジムなどを想定
夕方	給湯が夕方に集中的に使われる寮などを想定
カスタム(※)	給湯が終日多量に使用される傾向の施設を想定。(必要に応じて給湯量を変更することができます)

※カスタムパターンの設定変更については、専門的な技術が必要のため有料で対応させていただきます。詳しくは、お買上げ販売店にお問い合わせください。

例)『昼間』から『夕方』に設定を変更することで説明します。

設定手順

1. 「給湯パターン」ボタンを押す

- 現在設定されている『パターン』が点滅します。
例では『昼間』が点滅。
- 点滅しない場合は、再度「給湯パターン」ボタンを押してください。

2. 設定ボタンの「▼/▲」を押し、パターンを『夕方』表示にする

- 設定ボタンによるパターン変化

「▼」の場合

→ 昼間 → 朝夜 → 夕方 → カスタム

「▲」の場合

→ 昼間 → カスタム → 夕方 → 朝夜

3. 「確定」ボタンを押す

お知らせ

- 設定中に15秒以上操作がない場合は、通常の画面に戻ります。再度、やりなおしてください。
- 設定を途中でキャンセルする場合は「戻る」ボタンを押してください。

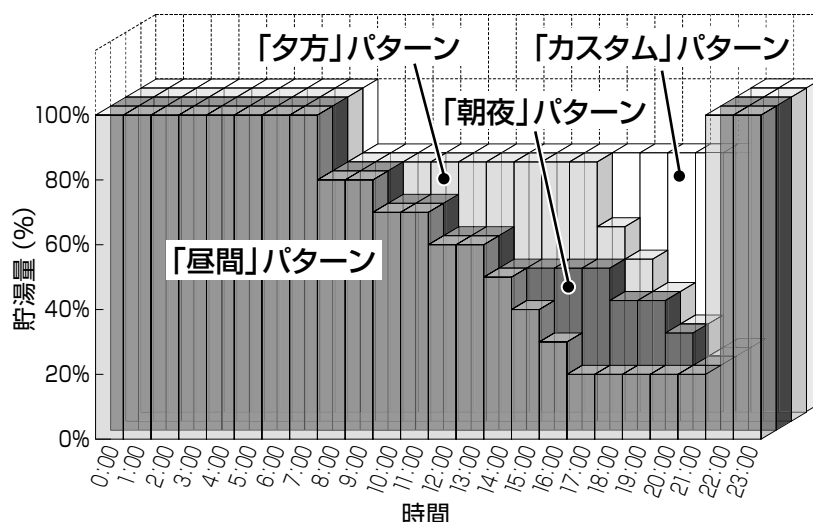
各給湯パターンの貯湯量

各給湯パターンの時間毎の目標貯湯量は、右のグラフのようになります。

グラフは8:00の外気温度が7℃以上の時のものです。7℃未満の場合には最大+30%まで自動的に補正されます。

目標貯湯量-5%で運転を開始し、目標貯湯量になると運転を停止します。

時間帯別目標貯湯量グラフ



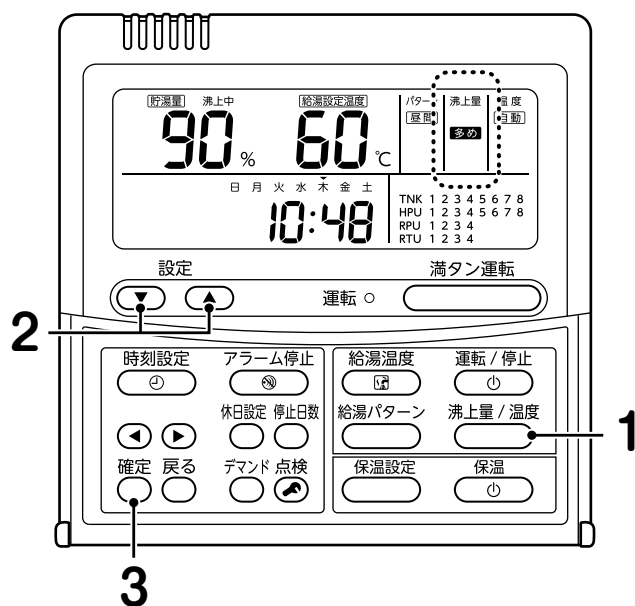
使いかた (つづき)

沸き上げ量の設定

- 沸き上げ量の設定は、3パターンあります。ご使用状況により選択してください。

表示	沸き上げ量パターン
標準	想定される標準的な使用状況での設定量です。
多め	標準に対して、多め(+10%)に沸き上げます。
少なめ	標準に対して、少なめ(-10%)に沸き上げます。

例)『標準』から『多め』に設定を変更することで説明します。



設定手順

1. 「沸上量/温度」ボタンを押す

- ・ 現在設定されている『沸上量』が点滅します。
例では『標準』が点滅
- ・ 点滅しない場合は、再度「沸上量/温度」ボタンを押してください。

2. 設定ボタンの「▼/▲」を押し、パターンを『多め』表示にする

- ・ 設定ボタンによるパターン変化

「▲」の場合

→ 標準 → 少なめ → 多め

「▼」の場合

→ 標準 → 多め → 少なめ

3. 「確定」ボタンを押す

お知らせ

- 設定中に 15 秒以上操作がない場合は、通常の画面に戻ります。再度、やりなおしてください。
- 設定を途中でキャンセルする場合は「戻る」ボタンを押してください。

沸き上げ量の設定による貯湯量変化例

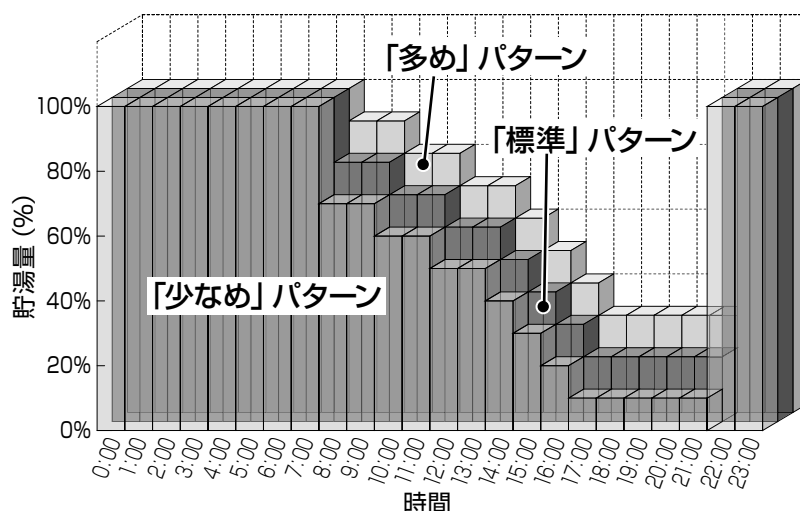
「昼間」パターン設定の「標準」「多め」「少なめ」設定での目標貯湯量変化は右のグラフのようになります。

グラフは 8:00 の外気温度が 7℃ 以上の時のものです。7℃ 未満の場合には最大 +30% まで、さらに自動的に補正されます。

「朝夜」「夕方」パターンにおいても同様の変化となります。

※いずれの設定でも 100% 設定の時間帯は変化しません。

時間帯別目標貯湯量グラフ(「昼間」パターン)



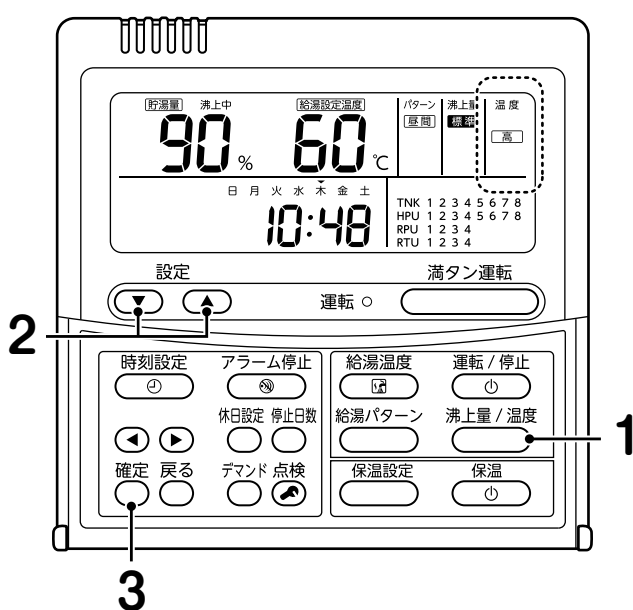
温度の設定

- 沸き上げ温度の設定は、3パターンあります。ご使用状況により選択してください。

表示	沸き上げ温度パターン
自動	外気温度により、沸き上げ温度を自動的に決定します。(※)
高	70℃
低	65℃

※8時の外気温度が15℃以下のときは沸き上げ温度70℃で、15℃より高いときは沸き上げ温度65℃になります。

例)『自動』から『高』に設定を変更することで説明します。



設定手順

1. 「沸上量/温度」のボタンを2回押す

- 現在設定されている『温度』が点滅します。
例では『自動』が点滅。
- 点滅しない場合は、再度「沸上量/温度」ボタンを押してください。

2. 設定ボタンの「▼/▲」を押し、パターンを『高』表示にする

- 設定ボタンによるパターン変化

「▼」の場合

→ 自動 → 高 → 低

「▲」の場合

→ 自動 → 低 → 高

3. 「確定」ボタンを押す

お知らせ

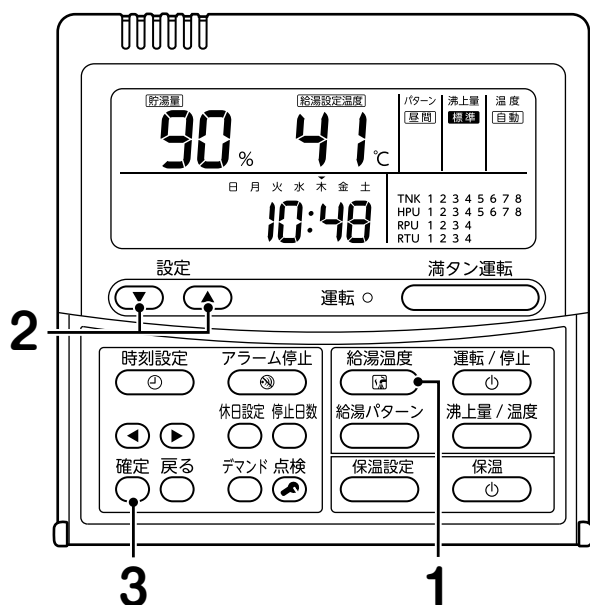
- 設定中に15秒以上操作がない場合は、通常の画面に戻ります。
再度、やりなおしてください。
- 設定を途中でキャンセルする場合は「戻る」ボタンを押してください。

使いかた (つづき)

給湯温度の設定

- 給湯温度の設定を変更します。設定温度は、35℃から63℃で1℃刻みです。

例)『60℃』から『41℃』に設定を変更することで説明します。

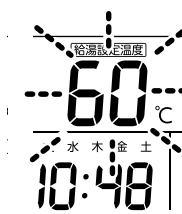


お知らせ

- 設定中に15秒以上操作がない場合は、通常の画面に戻ります。
再度、やりなおしてください。
- 設定を途中でキャンセルする場合は「戻る」ボタンを押してください。

設定手順

1. 「給湯温度」ボタンを押す



※ 給湯温度の部分が点滅します。

2. 設定ボタンの「▼」を押し、給湯温度を『41℃』にします

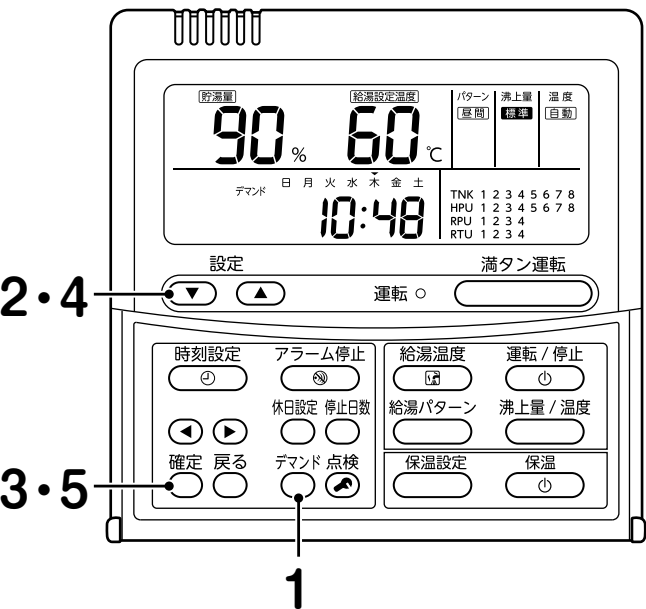


※ 給湯温度の部分が点滅します。

3. 「確定」ボタンを押す

デマンドの設定

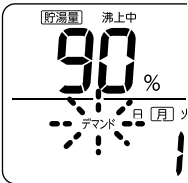
- デマンドは、任意の時間の運転台数を制限します。
- 設定時間内は同時に運転する台数を制限する機能です。



デマンドの設定・解除

<設定>

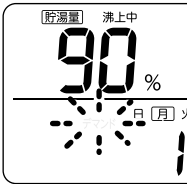
「デマンド」ボタンを押す



- ・『デマンド』マークが表示され、デマンドありの状態になります。

<解除>

再度「デマンド」ボタンを押す

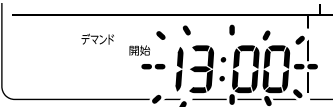


- ・『デマンド』マークの表示が消え、デマンドなしの状態になります。

デマンド制御時間の設定

開始時間を 13:00 から 14:00、終了時間を 16:00 から 17:00 に変更することで説明します

1. 「デマンド」ボタンを 4 秒以上押す（長押し）

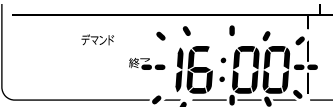


※ 設定されている開始時間と『デマンド』マークが表示されます。

2. 設定ボタンの「▼/▲」を押し、開始時間を 14:00 に変更する

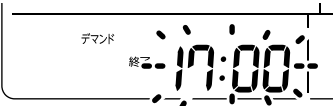


3. 「確定」ボタンを押す



※ 設定されている終了時間が表示されます。

4. 設定ボタンの「▼/▲」を押し、終了時間を 17:00 に変更する



5. 「確定」ボタンを押す



※ 『OK』マークの表示が数秒間表示されたのち、通常の画面に戻ります。

お知らせ

- 設定中に 15 秒以上操作がない場合は、通常の画面に戻ります。再度、やりなおしてください。
- 設定を途中でキャンセルする場合は「戻る」ボタンを押してください。
- 7月1日～9月30日 13:00～16:00 は、あらかじめデマンドが設定されており運転台数が制限されます。

デマンド設定時のヒートポンプユニットの運転台数について

デマンド設定された場合は、システムのヒートポンプユニット台数により下表のように約半分の運転台数で運転します。

	ヒートポンプユニットの最大同時運転台数(台)							
デマンド解除時(通常)	1	2	3	4	5	6	7	8
デマンド設定時	1	1	2	2	3	3	4	4

使いかた (つづき)

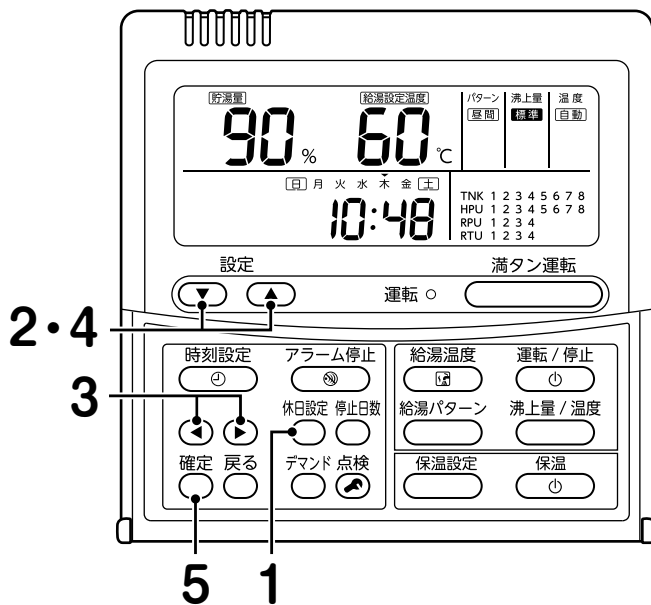
休日設定

- 曜日ごとの沸き上げをしない日 (以下:休日と言います) を設定します。

休日設定の前日22時から当日の21時59分までの沸き上げを行ないません。

例)『日』『土』を休日にすることで説明します。

この設定では金曜日の22時から日曜日の21時59分までの沸き上げを行ないません。

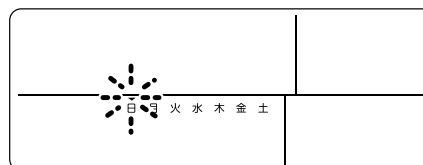


お知らせ

- 設定中に15秒以上操作がない場合は、通常の画面に戻ります。
再度、やりなおしてください。
- 設定を途中でキャンセルする場合は「戻る」ボタンを押してください。

設定手順

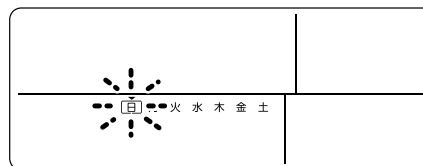
1. 「休日設定」ボタンを押す



※『日』の上に▼が点灯します。

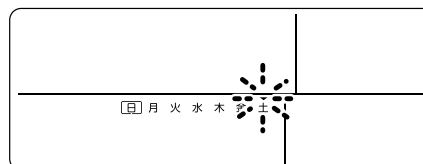
2. 『日』を休日にする

- 設定ボタンの「▼/▲」どちらかを押し、『日』を□で囲みます。



3. 『土』を設定する

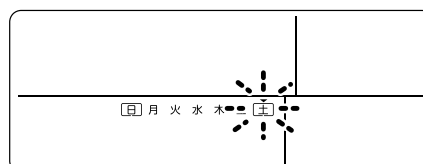
- 「◀/▶」を押し、『土』の上に「▼」を表示させます。



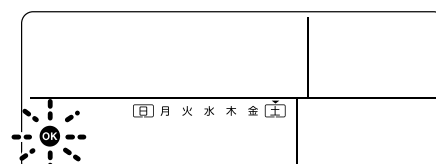
※『土』の上に▼が点灯します。

4. 『土』を休日にする

- 設定ボタンの「▼/▲」どちらかを押し、『土』を□で囲みます。



5. 「確定」ボタンを押す

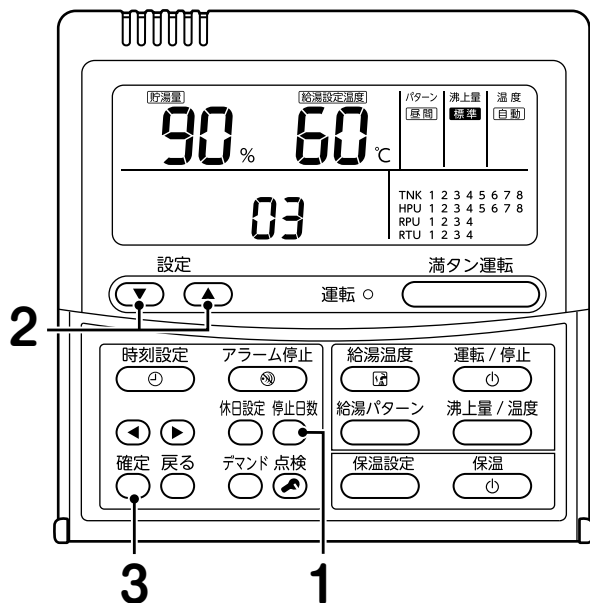


※『OK』マークの表示が出た後、通常表示に戻ります。

停止日数設定

- 連続して沸き上げをしない日数（以下：停止日数と言います）を設定します。
- 最大15日の設定が可能です。16日以上停止の場合は「運転／停止」ボタンでシステムを停止してください。

例) 停止日数を3日にすることで説明します。



設定の解除

1. 設定手順により「00」日を設定すると解除されます。
2. 「停止日数」ボタンを4秒以上押す（長押し）と解除されます。

お知らせ

- 設定中に15秒以上操作がない場合は、通常の画面に戻ります。再度、やりなおしてください。
- 設定を途中でキャンセルする場合は「戻る」ボタンを押してください。

停止日数の設定例

停止日数は設定した当日は通常の運転を行います。次の日から沸上運転を停止します。
※本給湯システムでは電力契約の関係から22：00～21：59を1日とカウントしています。

例

●土曜・日曜・月曜にお湯を使用しない場合の設定方法

金曜日の22時までに停止日数を「03」で設定します。

月曜日の22時から沸き上げを開始して火曜日の朝にはお湯が使用可能となります。

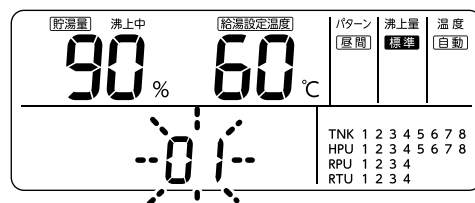


●22：00以降に設定した場合

金曜の23：00に停止日数を「03」とした場合はお湯が使用可能になるのは水曜日の朝になります。

設定手順

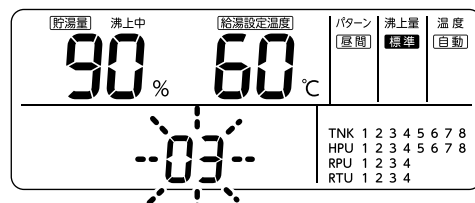
1. 「停止日数」ボタンを押す



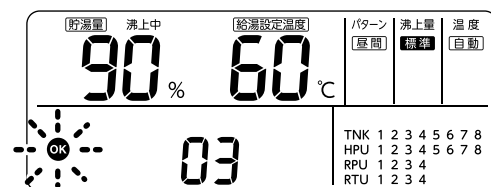
※ 停止日数が1日である『01』が表示されます。

2. 停止日数を3日に設定する

- 設定ボタンの「▼/▲」を押し、『03』にします。



3. 「確定」ボタンを押す

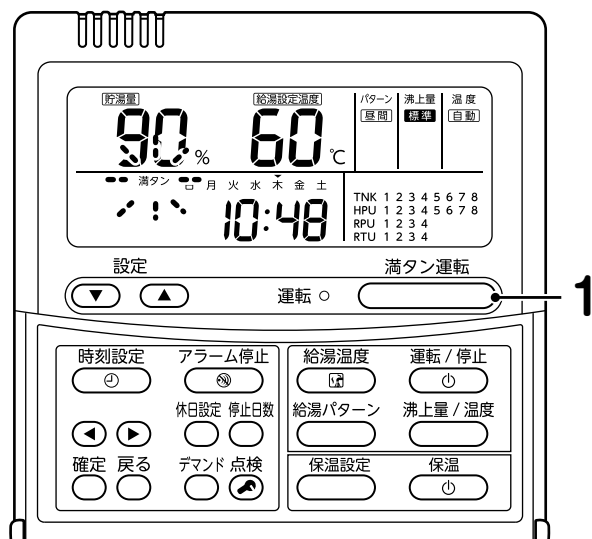


※ 『OK』マークの表示が出た後、通常表示に戻ります。

使いかた (つづき)

満タン運転の設定

- 満タン (貯湯量 100%) まで強制的に沸き上げます。満タンまで沸き上がると表示が消え、設定が解除されます。
- 通常よりもお湯の使用量が急に多くなる場合などに使用します。



手順

1. 「満タン運転」ボタンを押す

※『満タン』マークの表示がされ、満タン運転中であることを表わします。

満タンの表示は、次の条件により消えます。

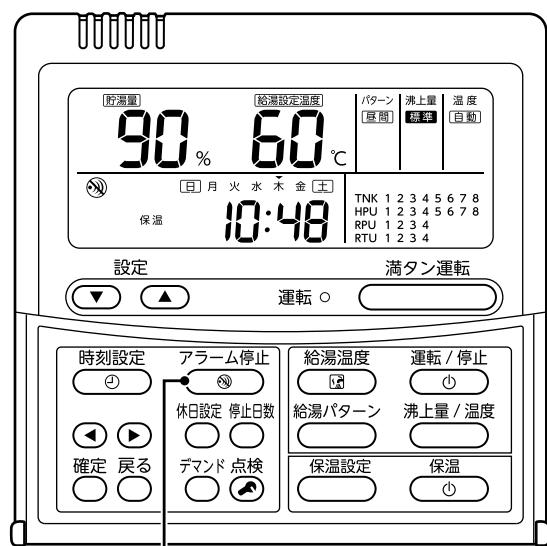
- 条件 1 : 「満タン運転」ボタンを押し、解除したとき
- 条件 2 : 満タンまで沸き上がったとき

アラーム停止

● アラーム停止には、以下の2通りの機能があります。

(1)アラーム音がなっているのをとめる

(2)アラーム音をならないように設定する



1・2

設定手順

1. アラーム音がなっているのをとめる

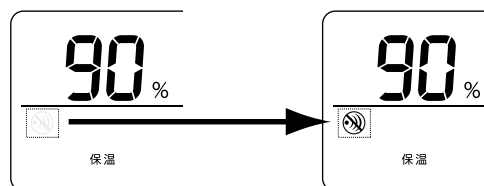
「アラーム停止」ボタンを押してください。

アラーム音は、製品またはシステムに異常が発生したときになります。
異常の原因を取り除いてください。

2. アラーム音をならないように設定する

<なる設定からならない設定>

- ・「アラーム停止」ボタンを長押し(4秒以上)押してください。



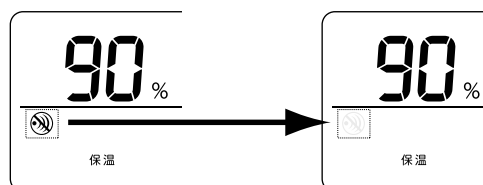
※「」マークが点灯し「ならない」設定になる

なる設定

ならない設定

<ならない設定からなる設定>

- ・「アラーム停止」ボタンを長押し(4秒以上)押してください。



※「」マークが消灯し「なる」設定になる

ならない設定

なる設定

アラーム音は、製品またシステムの異常が発生したときお知らせする機能です。ならない設定にすると異常発生時の発見がおくることがあります。なる設定でお使いになることをおすすめします。
アラーム音をならない設定にした場合は、ボタン操作音もなくなります。

使いかた (つづき)

保温

- 再加熱ヒートポンプユニットが接続されている場合のみ、設定できます。

<機能>

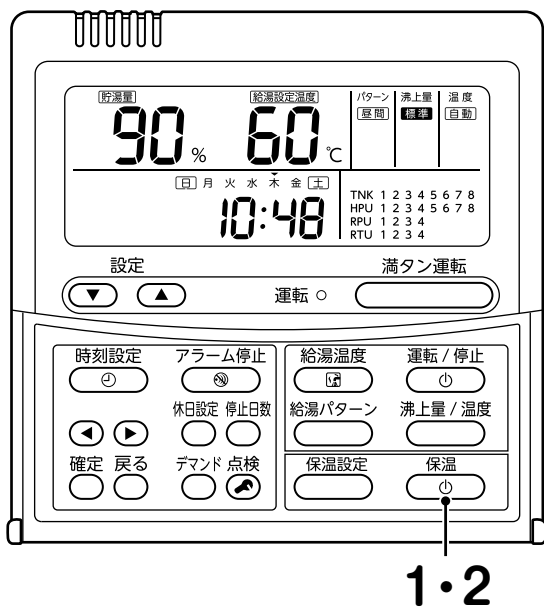
再加熱ヒートポンプユニット(RPU、RTU)の運転開始、停止を操作します。

<操作・動作>

- 「保温」ボタンを押すことで、再加熱ヒートポンプユニットの運転、→停止 →運転…と切り換わります。
- 保温中は液晶に『保温』を表示します。

再加熱ヒートポンプユニットが接続されていない場合は、「保温」ボタンを押しても無効です。

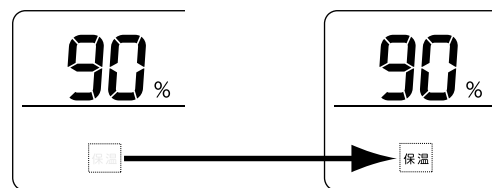
※『RTU』または『RPU』が点灯で再加熱ヒートポンプユニットが接続されています。



設定手順

1. 保温運転を設定する

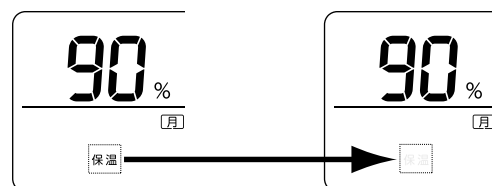
- 「保温」ボタンを押す。



※『保温』表示が点灯し保温設定になる

2. 保温運転をやめる

- 「保温」ボタンを押す。



※『保温』表示が消え保温運転を停止します。

ユニット情報表示

TNK：メイン貯湯タンクユニット
HPU：ヒートポンプユニット
RPU：再加熱ヒートポンプユニット
(HWS-454HP)
RTU：再加熱ヒートポンプユニット
(HWS-454HT)

お知らせ

- 保温運転は、タンクを保温する運転ではありません。
- タンクと混合栓の配管内を再加熱ヒートポンプユニットにて保温する機能です。

保温設定

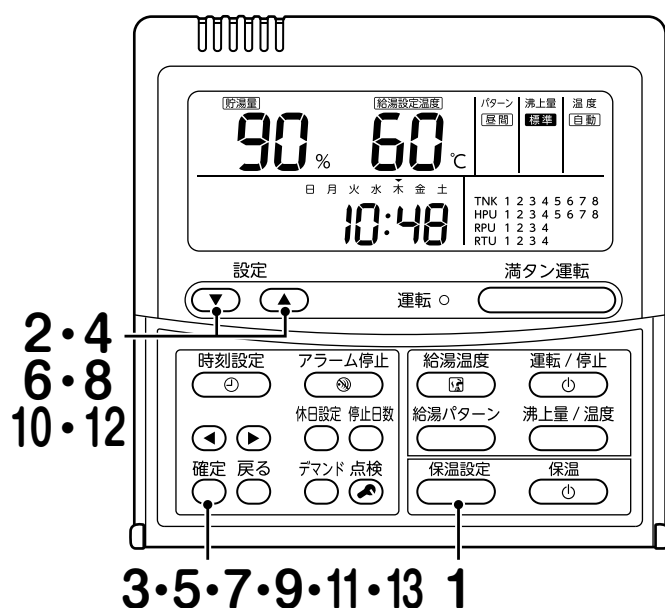
- 再加熱ヒートポンプユニットが接続されている場合のみ設定できます。
- 配管内の給湯温度低下防止のために再加熱ヒートポンプユニットで保温します。

保温設定は、

① RPU の温度 ② RPU の開始時間 ③ RPU の終了時間 ④ RTU の温度 ⑤ RTU の開始時間 ⑥ RTU の終了時間の順に設定します (RPU と RTU の両方の再加熱ヒートポンプユニットが接続されている場合)

以下に、① RPU の温度 54℃ ② RPU の開始時間 1:00 ③ RPU の終了時間 8:00 ④ RTU の温度 60℃ ⑤ RTU の開始時間 1:00 ⑥ RTU の終了時間 8:00 に設定する内容で説明します。

※『RPU』または『RTU』が点灯で再加熱ヒートポンプユニットが接続されています。



ユニット情報表示

TNK：メイン貯湯タンクユニット

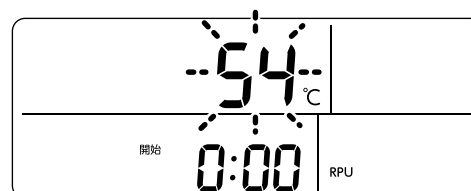
HPU：ヒートポンプユニット

RPU：再加熱ヒートポンプユニット(HWS-454HP)

RTU：再加熱ヒートポンプユニット(HWS-454HT)

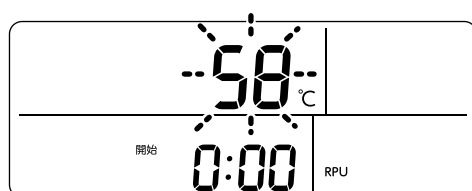
2. RPU の温度を設定する

- 設定ボタンの「▼/▲」を押し、希望温度にあわせます。



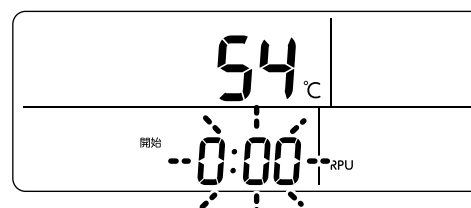
設定手順

1. 「保温設定」ボタンを押す



※『RPU』と「開始」が点灯し、「温度表示」が点滅します。
『RTU』のみ接続されている場合は『RTU』が表示され、8.RTUの温度を設定するから操作してください。

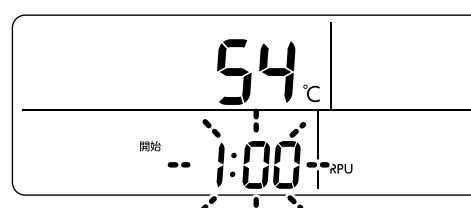
3. 「確定」ボタンを押すと画面の点滅がかわる



※「温度表示」が点灯になり「時間表示」が点滅します。

4. RPU の開始時刻設定をする

- 設定ボタンの「▼/▲」を押し、開始時刻をあわせます。



設定範囲

時刻設定は、24 時間設定

設定温度範囲

- RPU：40℃から 62℃ 1℃刻み (HWS-454HP)
- RTU：40℃から 62℃ 1℃刻み (HWS-454HT)

#

安全点検

事故を防止するために下記の安全点検を必ず行なってください。

警告

●元電源の漏電遮断器の動作を確認

する

漏電遮断器が故障のまま使用すると、
漏電のとき感電の原因になります。



動作点検

●逃し弁点検時は、排水管に手を触れない やけどをすることがあります。



手をふれない

注意

●逃し弁を点検する

点検しないと貯湯タンクユニットや配管が破損したり逃し弁から水漏れしたりすることがあります。



動作点検

●凍結防止対策を確認する

凍結で配管が破損しお湯が吹出してやけどをすることがあります。



施工確認

●水漏れを点検

配管接続部、水抜栓、専用止水栓から水が漏れていないか日常確認してください。



点検

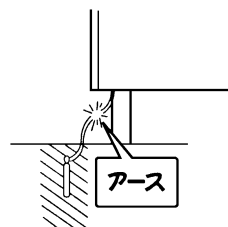
安全点検

1. 元電源の漏電遮断器の動作確認

漏電遮断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。

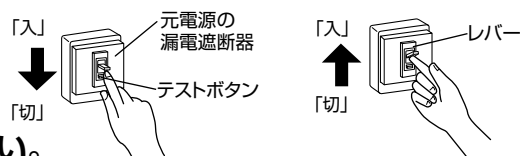
●年に2～3回は、漏電遮断器の動作確認を次のように行なってください。

(1) アース線が途中で切れていないか確認してください。



(2) テストボタンを押してください。

・漏電遮断器のレバーが「切」(OFF)になれば、正常です。



(3) テストのあとは、必ずレバーを「入」(ON)にもどしてください。

2. 逃し弁の動作確認

年に2～3回は、逃し弁動作をチェックしてください。

●逃し弁点検扉を開いて逃し弁レバーを手前に引いてください。排水し、戻したとき排水が止まれば正常です。(排水が確認できないときは水の音で排水されたことを確認してください)



●逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、逃し弁より常にお湯が流れ出て、湯量不足の原因となります。

●逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、貯湯タンクユニットを守る安全装置です。

逃し弁が正常に動作しないと、タンクが変形し水漏れや故障の原因になります。

3. 水漏れの点検

●ヒートポンプユニット、貯湯タンクユニット、再加熱ヒートポンプユニットを設置した床面に水が漏れていないか確認してください。

4. ドレン排水の点検

●ヒートポンプユニット、再加熱ヒートポンプユニットのドレン水が途中で漏れていないか、また確実に排水溝に流れていることを確認してください。

凍結防止について

機器運転中は以下の凍結防止運転を行います。

1. ヒートポンプユニット内部水配管の凍結防止

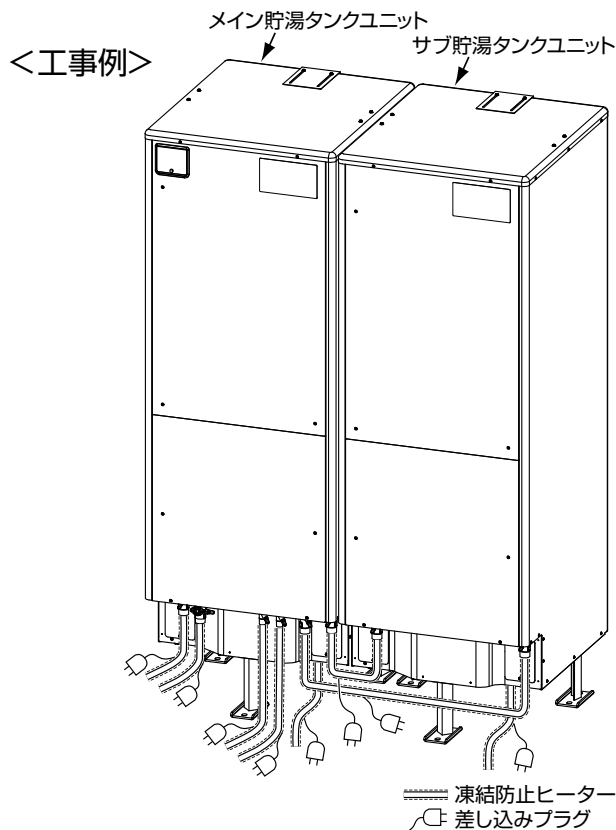
- 外気温が下がると、循環ポンプが運転します。さらに温度が下がるとヒートポンプユニットを自動的に運転して、ヒートポンプユニット内部水配管の凍結を防止します。

2. 凍結防止ヒーターによる方法

- 気温が0℃以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがありますので、据付説明書どおりの配管工事をしてください。
- 水が凍るような時期になりましたら、右図の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを100Vのコンセントに差し込んでください。暖かい時期(季節)になりましたら、プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- 冬期等の凍結時期に据え付けを行った場合は、凍結防止のため機器および凍結防止ヒーターを運転状態にしておいてください。
- 機器の通電が出来ない場合には、「通水後お使いにならないとき」により排水、水抜きを行ってください。



通水後お使いにならないとき

通水確認後や使用開始後、外気温度が凍結温度まで下がるような時期に、長期間お使いにならないときには、下記の方法にしたがって対応してください。

⚠ 注意

- 1ヵ月以上使用しないときは元電源の漏電遮断器を「切」にして貯湯タンクユニットの排水をする水質が変化することがあります。



対応方法

- お使いにならないときには、以下の「排水・水抜き方法」により各部の排水および水抜きを行ってください。タンクの水は変質するおそれがありますので、必ずすべて排水してください。
- 排水栓を開いただけでは、すべての水抜きを行うことができません。

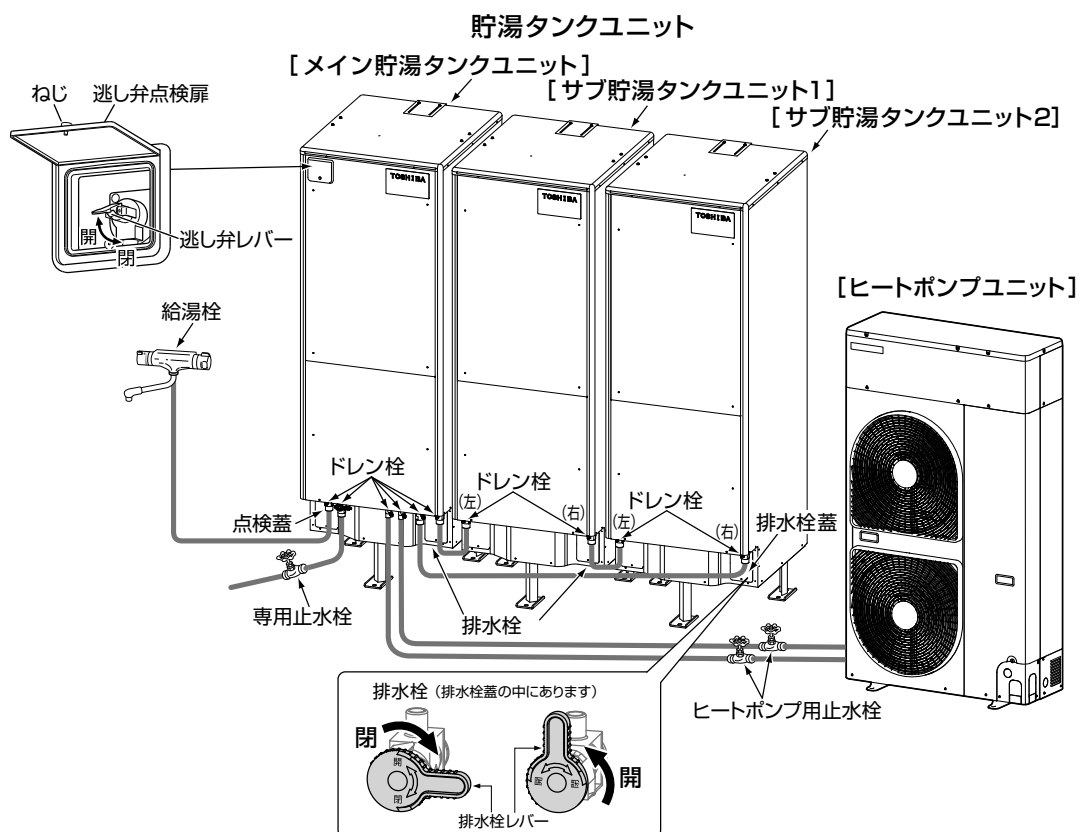
排水・水抜き方法

システム形名HW1T3-3(メイン貯湯タンクユニット1台、サブ貯湯タンクユニット2台)を例に説明します。

その他のシステムについてはこの説明を参考に水抜きしてください。

- ① リモコンの「運転/停止」ボタンでシステムを停止します。
- ② 元電源の漏電遮断器のレバーを『切』にします。
- ③ 専用止水栓を閉じます。ヒートポンプ用止水栓は開のままとしてください。
- ④ 逃し弁を開き、逃し弁レバーを『開』にします。
- ⑤ すべての貯湯タンクユニットの排水栓を『開』にします。

- ⑥約40～50分ほどで[メイン貯湯タンクユニット]の水抜きが完了します。
- ⑦[メイン貯湯タンクユニット]の水抜きが完了したら[サブ貯湯タンクユニット1]の左側ドレン栓をゆるめます。
- ⑧約40～50分ほどで[サブ貯湯タンクユニット1]の水抜きが完了します。
- ⑨[サブ貯湯タンクユニット1]の水抜きが完了したら[サブ貯湯タンクユニット2]の左側ドレン栓をゆるめます。
- ⑩約40～50分ほどで[サブ貯湯タンクユニット2]の水抜きが完了します。
- ⑪貯湯タンクユニットのドレン栓をすべてゆるめます。水が抜けにくい時はドレン栓をはずしてください。
(ドレン栓はメイン貯湯タンクユニットで6ヵ所、サブ貯湯タンクユニットで2ヵ所です。必要に応じて排水を洗面器等で受けてください。)
- ⑫排水せんおよびドレン栓から水が出なくなったら排水完了です。
- ⑬すべての貯湯タンクユニットの排水栓を『閉』にし、逃し弁レバーを『閉』にします。
- ⑭ゆるめたドレン栓を締めてください。
- ⑮漏電遮断器のレバーは『切』のままとし、次回使用時まで通電しないでください。また専用止水栓は閉じたままとしてください。



再び使用するとき

システム形名HW1T3-3(メイン貯湯タンクユニット1台、サブ貯湯タンクユニット2台)を例に説明します。
その他のシステムについてはこの説明を参考に給水してください。

●外気温度が氷点下の場合には、凍結防止ヒーターに通電して配管各部の凍結を解凍してから作業してください。

①すべての貯湯タンクユニットの排水栓を閉じます。(通常は閉じています)

②専用止水栓を開き、逃し弁を『開』にすると給水されます。

※給水されない場合には、貯湯タンクユニット内のタンク下部配管および逃し弁の凍結が考えられます。

点検蓋および逃し弁点検扉を開けて、ドライヤーで配管および逃し弁を温めて解凍してください。

③排水口から水が出てきたら逃し弁を閉じます。(見えない時は音で確認してください)

④給湯栓を開けて水が出ることを確認します。給湯栓を開けてもすぐに水が出ない場合には、しばらく開けたままとしてください。また気泡が混ざる場合もしばらく開けたままとして、気泡が出なくなるのを待ってください。

(貯湯タンクユニット内が水の場合出ないことがあります。お湯が沸いてから給湯栓を開けて確認してください)

お手入れのしかた

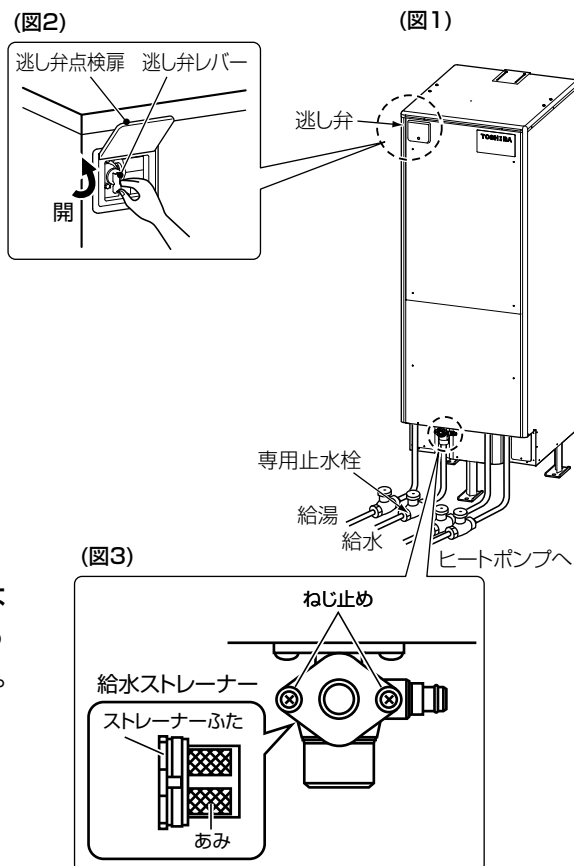
1 ストレーナーの掃除

お湯および水の出が悪くなったときは、給水口のストレーナーの掃除が必要です。

ストレーナーの掃除を行なうときは次の手順に従って行ってください。

《手順》

- (1) 専用止水栓を閉じます。(図1)
- (2) リモコンの「運転/停止」ボタンでシステムを停止します。
- (3) 元電源の漏電遮断器を「切」にします。
- (4) 逃し弁レバーを『開』にしてタンク内の圧力を抜きます。(図2)
- (5) 給水口のストレーナーをはずし、あみを掃除します(水を流しながらブラシなどでよく洗います)。この時、配管内に残っている残水が出てきますので必要に応じて洗面器などで受けてください。(図3)
- (6) ストレーナーを組み付け、専用止水栓を開きます。水漏れがないことを確認してください。




2 タンク内の掃除

使用しているうちに水あかや沈殿物がタンクの底にたまります。きれいなお湯をお使いいただくために、必ず年に2～3回は次の手順で排水口から水あかなどを出してください。


タンク内の掃除をするときは、約10分間程度、給湯をした後に行ってください。(タンク下部に給水されることにより排水口から熱湯が出ることを防ぎます。)

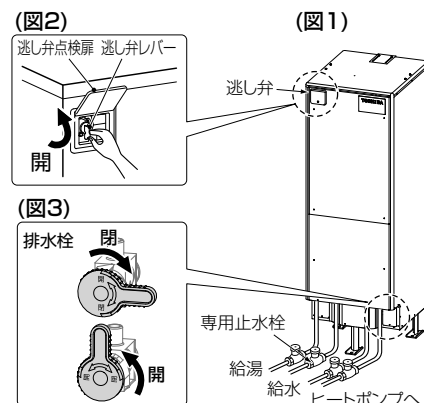
《手順》

- (1) リモコンの「運転/停止」ボタンでシステムを停止します。
- (2) 元電源の漏電遮断器のレバーを「切」にします。
- (3) 専用止水栓を閉じます。(図1)
- (4) 排水栓を開きます。(図3)
- (5) 逃し弁点検扉を開いて、逃し弁のレバーを『開』にします。(図2)
- (6) 汚れた水がきれいな水にかわったら排水栓を閉じます。(図3)
※お湯が出てくることがありますので、ご注意ください。
- (7) 排水が終わりましたら専用止水栓を開きます。(図1)
- (8) 排水口に水が出てきたら、逃し弁のレバーを元の位置に戻します。
(排水を目視できないときは音で確認してください)
- (9) 元電源の漏電遮断器のレバーを「入」にします。

**注意**

●貯湯タンクユニットの水抜き時は
熱湯を直接排水しない
やけどや排水管破損の原因になります。給湯などを行い、お湯を使いきってから排水してください。

**禁止**



3 断水、近くで水道工事が行われるとき

- 工事が行われる前に専用止水栓を閉じてください。濁った水が給水口のストレーナーに目詰まりし湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
- 解除されたら水道のにごりがないことを確認してから、専用止水栓を開いて機器を使用してください。

4 過圧防止弁について

- 過圧防止弁はヒートポンプユニットや貯湯タンクユニットの内部配管などに異常圧力がかかった場合、圧力を外部に逃がし機器を保護する装置です。ヒートポンプユニットのドレン水が通常使用時より多い場合には、過圧防止弁の動作が考えられます。
元電源の漏電遮断器のレバーを「切」にし、専用止水栓を閉じてお使いになるのをやめて、お買い上げの販売店に連絡をして修理を受けてください。

5 リモコンの掃除のしかた

- リモコンの表面が汚れたときは水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。
 - リモコン内部には電気部品が入っていますので、水をかけないでください。
- ※洗剤およびシンナー・ベンジンなどは使用しないでください。

定期点検のおすすめ

機器を長期間安心してお使いいただくために、専門の技術者がお客様に代わって細かく定期点検、部品の交換(有料)をいたします。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

部品交換について

部品交換が必要なときは、お買い上げの販売店に依頼してください。

- 部品交換の際は、必ず東芝の専用補修部品をお使いください。専用以外の部品を使用して、万一故障や事故が発生した場合は、弊社は責任を負いかねます。

消耗、劣化しやすい部品

項 目	内 容
使用時間により交換が必要な部品	循環ポンプ、減圧弁、逃し弁
水質により劣化しやすい部品	水熱交換器、減圧弁、逃し弁
特殊な環境により交換が必要な部品	電気接点部品、水熱交換器、減圧弁、逃し弁

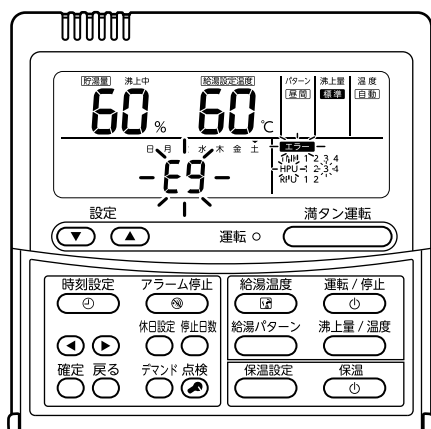
- 循環ポンプは、性能を維持するために約3年毎をめやすに点検整備(有料)をおすすめします。
点検については、お買い上げの販売店にご相談ください。

エラーの表示と処理のしかた

- 異常発生時にブザー音『ピー・ピー…』がなり続けます。
- エラー表示はリモコンの現在時刻表示部に表示されます。
- エラー表示が出ている時は、リモコンでエラーの手動解除を行なってください。エラー表示が消えればそのままご使用いただけます。
- エラー解除を行っても再度同じエラーが出る時には、お買い上げの販売店または「業務用ヒートポンプ給湯機修理ご相談窓口」へご相談ください。

エラー表示	内容	発生ユニット			沸き上げ 運転 可否	リモコンでの 手動解除 可否
		ヒートポンプ ユニット	再加熱 ヒートポンプ ユニット	貯湯タンク ユニット		
		HPU	RPU/RTU	TNK		
04	インバータ CDB - 水熱交 CDB 間通信異常	○	○		×	×
07	圧縮機ケースサーモ異常	○	○		×	×
0A	水温異常、温度検出	○	○		×	×
0d	TC センサー異常、温度異常	○	○		×	×
11	ポンプ異常	○	○		×	×
12	AC 電源検出異常	○	○		×	×
14	G - Tr 異常	○	○		×	×
16	位置検出異常	○	○		×	×
17	電流検出回路異常 (CT)	○	○		×	×
18	TE、TS センサ異常	○	○		×	×
19	TD センサ異常	○	○		×	×
1A	室外ファン異常	○	○		×	×
1C	圧縮機モータ駆動系異常	○	○		×	×
1d	圧縮機不良	○	○		×	×
1E	吐出温度異常	○	○		×	×
1F	圧縮機ブレークダウン	○	○		×	×
8A	三方弁異常	○	○		×	×
99	通信異常	○	○	○	×	○
E9	凍結異常	○	○		×	○
F6	TWI センサ異常	○	○		×	○
F7	TWO センサ異常	○	○		×	○
8F	アドレス重複			○	×	○
d2	ヒートポンプユニット異常			○	×	○
31	流量センサ 1 異常			○	○	○
32	流量センサ 2 異常			○	○	○
33	流量センサ 3 異常			○	○	○
35	温度センサ T1 異常			○	○	○
36	温度センサ T2 異常			○	○	○
37	温度センサ T3 異常			○	○	○
39	温度センサ T4 異常			○	○	○
3A	残湯サーミスタ TZ1 異常			○	○	○
3C	残湯サーミスタ TZ2 異常			○	○	○
3d	残湯サーミスタ TZ3 異常			○	○	○
3E	閉止弁異常			○	○	○
3F	ミキシングバルブ異常			○	○	○
41	エア抜弁異常			○	○	○

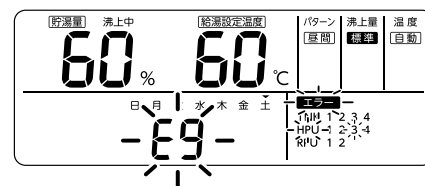
記号の意味
○：できる
×：できない



異常発生時の画面

＜例＞ HPU(ヒートポンプユニット)の
アドレス3番に『E9』異常が
発生した場合

※複数の異常が同時に発生した場合、
それに対応するエラーコードが順番に
表示されます。



＜アラーム音の停止方法＞

1. 「アラーム停止」ボタンを押す

＜エラーの手動解除の方法＞

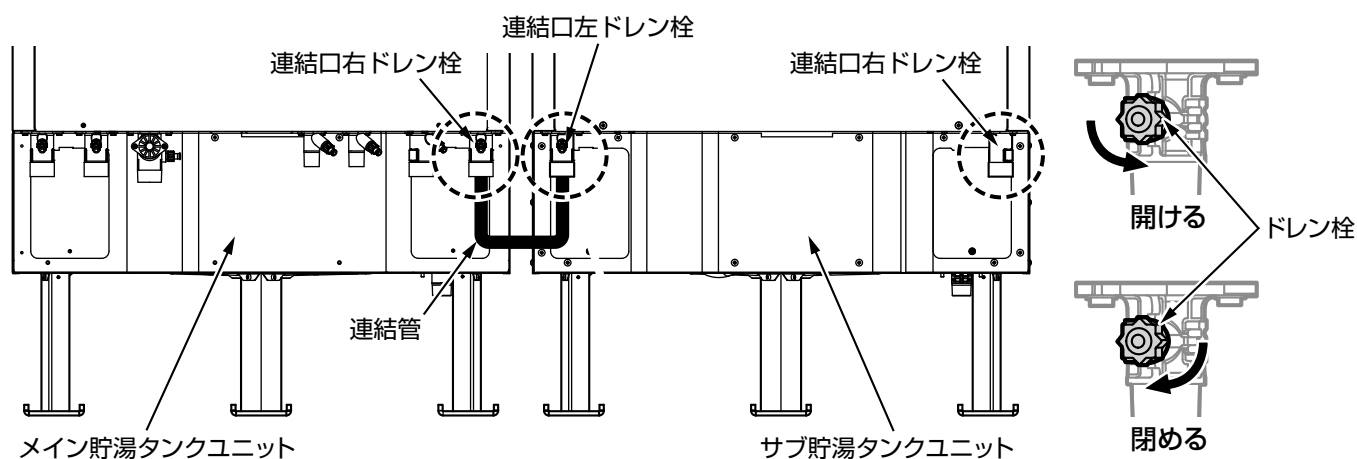
1. 「戻る」ボタンを押す

※エラーには、解除できるものとできないものがあります。

※リモコンによる手動解除を行っても解除できないときは、元電源の漏電遮断器を一度「切」にし、しばらく(約10秒)してから「入」にしてみてください。

非常時の取水方法

- 万一の災害による断水時に、タンク内のお湯(水)を生活用水としてご利用できます。
- まずメイン貯湯タンクユニット、次にサブ貯湯タンクユニットの順に取水してください。
(最初にサブ貯湯タンクユニットから取水することはできません)
- サブ貯湯タンクユニットが複数台接続されている場合は、メイン貯湯タンクユニットから連結管で接続されている順にお湯(水)を取水してください。
- 取水中に、急に水からお湯になることがありますので、やけどに注意してください。
- 取水後通常運転に戻すときは、31ページの「再び使用するとき」をご覧ください。



＜メイン貯湯タンクユニットの取水方法＞

- (1) 元電源の漏電遮断器を「切」にします。
- (2) 給水専用止水栓を閉めます。
- (3) 逃し弁を開きます。
- (4) “連結口右”ドレン栓を開き、お湯(水)を取水します。
- (5) 必要量取水したら、“連結口右”ドレン栓を閉めます。
- (6) 逃し弁を閉じます。

＜サブ貯湯タンクユニットの取水方法＞

- (1) “連結口左”ドレン栓を回して取り外します。
※配管分のお湯(水)が抜けて空気が入ります。
※メイン貯湯タンクユニットのお湯(水)が抜け切る前に連結口左のドレン栓を取り外すとサブ貯湯タンクユニットからお湯(水)が取り出せない場合があります。
- (2) “連結口右”ドレン栓を開き、お湯(水)を取水します。
- (3) 必要量取水したら、“連結口右”ドレン栓を閉めます。
- (4) “連結口左”ドレン栓を取り付けます。
ネジ山を壊さないよう気をつけてください。

このようなときには

修理を依頼される前に次のことを確認してください。

症 状	点検するところ	対 処 方 法
お湯が出ない。 お湯の出が悪い。	●専用止水栓は開いていますか。	→ 閉じていたら、開いてください。
	●給水口のストレーナー部がつまっていますか。	→ 32ページの「ストレーナーの掃除」によりお手入れを依頼してください。
	●配管部分が凍結していませんか。	→ お買い上げの販売店にご相談ください。
	●給水圧が低い不是吗。	→ 水圧の確認を水道局へ依頼する。
	●断水ではありませんか。	→ 水道局へ問い合わせてください。 (断水が終わるまで待ってください)
お湯が沸かない。	●元電源の漏電遮断器のレバーが「切 (OFF)」になっていませんか。	→ 「切 (OFF)」になっているときは、「入 (ON)」にしてください。 ※ 2度、3度と「切 (OFF)」になる場合は故障のおそれがありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
お湯がぬるい。 お湯が足りない。	●湯温切り替えは適当ですか。	→ 上のランクへ切り替えてください。 「例えば低 (65℃) → 高 (70℃)」
	●深夜時間帯にお湯をたくさん使用しませんでしたか。	→ 沸増し設定をして沸増ししてください。
	●いつもにくらべてお湯をたくさん使用しませんでしたか。	
	●タンク内の水温が高くありませんか。	→ 水温がいちじるしく高い場合には設定温度まで沸き上げることができません。
	●逃し弁の逃し管から常時お湯が流れていませんか。沸増し中は常時逃し管から膨張水が排水されます。	→ 29ページの「逃し弁の動作確認」により、逃し弁の動作確認をしてください。 → お湯が止まらないときは、逃し弁を交換してください。
濁ったお湯が出る。	●近くで断水や水道工事はありましたか。	→ 水がきれいになったのを確認してからお使いください。 → 33ページの「断水・近くで水道工事が行われるとき」をご覧ください。
	●タンク内の掃除をしていますか。	→ 32ページの「タンク内の掃除」により、タンク内の掃除をしてください。
ヒートポンプユニットが運転／停止を繰り返す。	●気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転／停止を繰り返します。 ●気温が低いときは、ヒートポンプユニット配管の凍結防止のため、運転／停止を繰り返します。	
排水口からお湯が出ている。	●沸き上げ運転時は、貯湯タンクユニット内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が逃し弁から排水されます。 ●セルフクリーニングのため、一定期間ごとに少量(コップ2杯程度)のお湯がでます。	
沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットの熱交換器が霜で白くなる。	●冬期運転中は熱交換器に霜がつくことがあります。	
沸き上げ運転中、ヒートポンプユニットのドレン口から水が出る。	●ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収するときに、結露した水が出てきます。	

仕様

システム	システム形名		HW1T1-3		HW1T2-3		HW1T3-3		HW1T4-3		HW1T1W-3		HW1T2W-3		HW1T3W-3		HW1T4W-3		
	種類 (設置区分)		屋外型 (防雨型)																
	相数		三相																
	定格電圧		200V																
	定格周波数		50Hz/60Hz																
	電源設計	漏電遮断器		30A															
		電源線	20m以下	燃線 5.5mm ^φ															
			50m以下	燃線 14.0mm ^φ															
	最大電流			20A															
	沸き上げ温度			65℃、70℃、自動															
	用途			1 温度 (ミキシング給湯) 業務用給湯						2 温度 (ミキシング給湯、直出し給湯) 業務用給湯									
使用外気温度範囲			- 10℃ ~ 40℃																
安全装置			過圧防止弁 (動作圧力: 350kPa)																
メイン貯湯タンクユニット	形名		HWS-M564T						HWS-M564TW										
	タンク容量		560L																
	消費電力	制御	16W (待機時 3.5W)																
		凍結防止ヒータ	40W																
	質量 (満水時)		82kg (642kg)						83kg (643kg)										
	外形寸法 (幅×奥行き×高さ)		700×800×2110mm																
	外装色 (マンセル記号)		シルキーシェード (1Y8.5/0.5)																
	配管口径	※8	給水・給湯・タンク連結口: R1 (オネジ) 排水: R3/4 (オネジ) ヒーポン接続口 (水側・湯側): R1/2 (オネジ)																
	配管方式		直結式 (減圧弁設定圧力: 170kPa)																
	タンク最高使用圧力		逃し弁 (負圧弁付き): 190kPa																
タンク保温性能		※7	2.0℃ / 10時間																
サブ貯湯タンクユニット	形名		HWS-S564T																
	タンク容量		560L																
	質量 (満水時)		75kg (635kg)																
	外形寸法 (幅×奥行き×高さ)		700×800×2110mm																
	外装色 (マンセル記号)		シルキーシェード (1Y8.5/0.5)																
	配管口径		タンク連結口: R1 (オネジ) 排水: R3/4 (オネジ)																
	配管方式		—																
貯湯タンクの組合せ	メイン貯湯タンクユニット		1台	1台	1台	1台	1台	1台	1台	1台	1台	1台	1台	1台	1台	1台	1台	1台	
	サブ貯湯タンクユニット		0台	1台	2台	3台	0台	1台	2台	3台	0台	1台	2台	3台	0台	1台	2台	3台	
貯湯タンク総容量			560L	1120L	1680L	2240L	560L	1120L	1680L	2240L	560L	1120L	1680L	2240L	560L	1120L	1680L	2240L	
リモコン	形名		HWS-63SR																
	外形寸法 (幅×奥行き×高さ)		120×16×120mm																
	操作・機能		運転/停止、システム残湯量表示、給湯温度「35℃～63℃」、給湯パターン設定「昼間・夕方・朝夕・カスタム」、沸き上げ温度設定: 「低 (65℃)・高 (70℃)・自動」、沸き上げ量設定「標準、多め、少なめ」、デマンド設定「任意時刻」、休日設定、停止日数設定、エラー表示、アラーム停止操作、保温運転/停止、保温温度・運転時間設定																
ヒートポンプユニット	形名		HWS-1504H																
	外形寸法 (幅×奥行き×高さ)		900×320×1575mm																
	外装色 (マンセル記号)		シルキーシェード (1Y8.5/0.5)																
	質量		120kg																
	ポンプ出力		DC280V-45W																
	標準貯湯加熱性能	中間期加熱能力/消費電力 ※1	15.0 kW/3.55 kW																
		夏期加熱能力/消費電力 ※2	15.0 kW/3.15 kW																
		冬期加熱能力/消費電力 ※3	15.0 kW/3.95 kW																
	高温貯湯加熱性能	中間期加熱能力/消費電力 ※4	15.0 kW/3.75 kW																
		夏期加熱能力/消費電力 ※5	15.0 kW/3.30 kW																
		冬期加熱能力/消費電力 ※6	15.0 kW/4.15 kW																
	年間標準貯湯加熱I値 [※] -消費効率			4.0															
	運転音			(中間期) 47dB/(冬期) 50 dB															
	圧縮機電動機出力			2.5kW															
	送風機電動機出力			60 + 60W															
冷媒名 (封入量)			R410A (2.4kg)																
冷媒の地球温暖化係数 (GWP)			2090																
冷媒の二酸化炭素換算値			5016kg																
設計圧力 (冷凍サイクル)			4.15MPa																

※ 1~7 (一般社団法人日本冷凍空調工業会標準規格「業務用ヒートポンプ給湯機」(JRA4060:2014)に準拠しています。)

※ 1 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 16℃/12℃、水温 17℃、沸き上げ温度 65℃

※ 2 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 25℃/21℃、水温 24℃、沸き上げ温度 65℃

※ 3 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温 9℃、沸き上げ温度 65℃

※ 4 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 16℃/12℃、水温 17℃、沸き上げ温度 70℃

※ 5 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 25℃/21℃、水温 24℃、沸き上げ温度 70℃

※ 6 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温 9℃、沸き上げ温度 70℃

※ 7 作動条件: 貯湯ユニット周囲温度 20℃、水温 15℃、沸き上げ温度 65℃

※ 8 2温度業務用給湯タイプ(ダブル給湯タイプ)は、給湯口が2系統(直出し給湯、ミキシング給湯)あります。

仕様 (つづき)

1. 標準タイプ

システム	システム形名		HW1T4-3	HW2T4-3	HW3T4-3	HW4T4-3	HW5T4-3	HW6T4-3	HW7T4-3	HW8T4-3		
	貯湯量		2240L	4480L	6720L	8960L	11200L	13440L	15680L	17920L		
	定格電源		三相 200V 50/60Hz									
	最大電流		20A	40A	60A	80A	100A	120A	140A	160A		
	標準貯湯加熱性能	中間期加熱能力/消費電力	15.0kW/3.55kW	30.0kW/7.10kW	45.0kW/10.65kW	60.0kW/14.20kW	75.0kW/17.75kW	90.0kW/21.30kW	105.0kW/24.85kW	120.0kW/28.40kW		
		夏期加熱能力/消費電力	15.0kW/3.15kW	30.0kW/6.30kW	45.0kW/9.45kW	60.0kW/12.60kW	75.0kW/15.75kW	90.0kW/18.90kW	105.0kW/22.05kW	120.0kW/25.20kW		
		冬期加熱能力/消費電力	15.0kW/3.95kW	30.0kW/7.90kW	45.0kW/11.85kW	60.0kW/15.80kW	75.0kW/19.75kW	90.0kW/23.70kW	105.0kW/27.65kW	120.0kW/31.60kW		
	高温貯湯加熱性能	中間期加熱能力/消費電力	15.0kW/3.75kW	30.0kW/7.50kW	45.0kW/11.25kW	60.0kW/15.00kW	75.0kW/18.75kW	90.0kW/22.50kW	105.0kW/26.25kW	120.0kW/30.00kW		
		夏期加熱能力/消費電力	15.0kW/3.30kW	30.0kW/6.60kW	45.0kW/9.90kW	60.0kW/13.20kW	75.0kW/16.50kW	90.0kW/19.80kW	105.0kW/23.10kW	120.0kW/26.40kW		
		冬期加熱能力/消費電力	15.0kW/4.15kW	30.0kW/8.30kW	45.0kW/12.45kW	60.0kW/16.60kW	75.0kW/20.75kW	90.0kW/24.90kW	105.0kW/29.05kW	120.0kW/33.20kW		
年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率		4.0										
給湯温度(ミキシング給湯)		35℃～63℃(出荷時設定 60℃)										
ユニット	ヒートポンプ											
	形名		HWS-1504H									
	外形寸法(幅×奥行×高さ)(1台)		900×320×1575mm									
	質量(1台)		120kg									
ヒートポンプユニット台数		1台	2台	3台	4台	5台	6台	7台	8台			
ユニット	貯湯タンク	メイン貯湯	形名	HWS-M564T								
		タンクユニット	台数	1台	2台	3台	4台	5台	6台	7台	8台	
		サブ貯湯	形名	HWS-S564T								
		タンクユニット	台数	3台	6台	9台	12台	15台	18台	21台	24台	
		外形寸法(幅×奥行×高さ)(1台)		700×800×2110mm (メイン貯湯タンクユニット・サブ貯湯タンクユニット 同一)								
		質量(満水時) (1台)	メイン貯湯タンクユニット	82kg(642kg)								
			サブ貯湯タンクユニット	75kg(635kg)								
リモコン			HWS-63SR									

2. ダブル給湯タイプ

システム	システム形名		HW1T4W-3	HW2T4W-3	HW3T4W-3	HW4T4W-3	HW5T4W-3	HW6T4W-3	HW7T4W-3	HW8T4W-3	
	貯湯量		2240L	4480L	6720L	8960L	11200L	13440L	15680L	17920L	
	定格電源		三相 200V 50/60Hz								
	最大電流		20A	40A	60A	80A	100A	120A	140A	160A	
	標準貯湯加熱性能	中間期加熱能力/消費電力	15.0kW/3.55kW	30.0kW/7.10kW	45.0kW/10.65kW	60.0kW/14.20kW	75.0kW/17.75kW	90.0kW/21.30kW	105.0kW/24.85kW	120.0kW/28.40kW	
		夏期加熱能力/消費電力	15.0kW/3.15kW	30.0kW/6.30kW	45.0kW/9.45kW	60.0kW/12.60kW	75.0kW/15.75kW	90.0kW/18.90kW	105.0kW/22.05kW	120.0kW/25.20kW	
		冬期加熱能力/消費電力	15.0kW/3.95kW	30.0kW/7.90kW	45.0kW/11.85kW	60.0kW/15.80kW	75.0kW/19.75kW	90.0kW/23.70kW	105.0kW/27.65kW	120.0kW/31.60kW	
	高温貯湯加熱性能	中間期加熱能力/消費電力	15.0kW/3.75kW	30.0kW/7.50kW	45.0kW/11.25kW	60.0kW/15.00kW	75.0kW/18.75kW	90.0kW/22.50kW	105.0kW/26.25kW	120.0kW/30.00kW	
		夏期加熱能力/消費電力	15.0kW/3.30kW	30.0kW/6.60kW	45.0kW/9.90kW	60.0kW/13.20kW	75.0kW/16.50kW	90.0kW/19.80kW	105.0kW/23.10kW	120.0kW/26.40kW	
		冬期加熱能力/消費電力	15.0kW/4.15kW	30.0kW/8.30kW	45.0kW/12.45kW	60.0kW/16.60kW	75.0kW/20.75kW	90.0kW/24.90kW	105.0kW/29.05kW	120.0kW/33.20kW	
年間標準貯湯加熱エネルギー消費効率		4.0									
給湯温度(ミキシング給湯)/直出し給湯温度		35℃～63℃(出荷時設定 60℃)/65℃・70℃(タンク内湯温による)									
ユニット	ヒートポンプ		HWS-1504H								
	外形寸法(幅×奥行き×高さ)(1台)		900×320×1575mm								
	質量(1台)		120kg								
	ヒートポンプユニット台数		1台	2台	3台	4台	5台	6台	7台	8台	
ユニット	メイン貯湯タンクユニット	形名	HWS-M564TW								
		台数	1台	2台	3台	4台	5台	6台	7台	8台	
	サブ貯湯タンクユニット	形名	HWS-S564T								
		台数	3台	6台	9台	12台	15台	18台	21台	24台	
	外形寸法(幅×奥行き×高さ)(1台)		700×800×2110mm (メイン貯湯タンクユニット・サブ貯湯タンクユニット 同一)								
	質量(満水時)(1台)	メイン貯湯タンクユニット	83kg(643kg)								
		サブ貯湯タンクユニット	75kg(635kg)								
リモコン			HWS-63SR								

3. システム 早見表

システム数(ヒートポンプユニット数)	1	2	3	4	5	6	7	8
サブ貯湯タンクユニット数/システム								
0	HW1T1-3	HW2T1-3	HW3T1-3	HW4T1-3	HW5T1-3	HW6T1-3	HW7T1-3	HW8T1-3
1	HW1T2-3	HW2T2-3	HW3T2-3	HW4T2-3	HW5T2-3	HW6T2-3	HW7T2-3	HW8T2-3
2	HW1T3-3	HW2T3-3	HW3T3-3	HW4T3-3	HW5T3-3	HW6T3-3	HW7T3-3	HW8T3-3
3	HW1T4-3	HW2T4-3	HW3T4-3	HW4T4-3	HW5T4-3	HW6T4-3	HW7T4-3	HW8T4-3

※縦列は、ヒートポンプユニット数が同一であり、システムの性能(加熱能力・消費電力・消費電流)は同一です。


4. 再加熱ヒートポンプユニット仕様表

項 目		形 名	HWS-454HP	HWS-454HT
主 用 途			循環回路保温用	タンク保温用
定格電源			単相200V 50/60Hz	
最大電流			15A	
電源設計	手元開閉器容量		15A	
	ヒューズ容量		15A	
	電源線	20m以下	撚線 3.5mm ²	
		50m以下	撚線 5.5mm ²	
保温 加熱性能	中間期加熱能力/消費電力 ※2		4.5kW/2.09kW	
	夏期加熱能力/消費電力 ※3		4.5kW/1.80kW	
	冬期加熱能力/消費電力 ※4		4.5kW/2.25kW	
外形寸法(幅×奥行×高さ)			780mm×290mm×770mm	
外装色(マンセル記号)			シルキーシェード(1Y8.5/0.5)	
質 量			55 kg	
運 転 音			50dB(中間期)/51dB(冬期)	
冷媒名(封入量)			R410A(0.7kg)	
冷媒の地球温暖化係数			2090	
冷媒の二酸化炭素換算値			1463kg	
圧縮機電動機出力			750W	
送風用電動機出力			43W	
定流量弁			入口に定流量弁(16L/min)	
機内抵抗			圧力損失2m(16L/min時)	
使用範囲	外気温度		-10℃~40℃	
	設定温度(入口温度) ※1		40℃~62℃(1℃刻み)	
	使用圧力範囲		500kPa以下	

※1 条件によっては設定温度に対し上下する場合があります。
※2 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)16/12℃、入水温度:60℃、出湯温度:64℃、加熱流量:16L/min
※3 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)25/21℃、入水温度:60℃、出湯温度:64℃、加熱流量:16L/min
※4 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)7/6℃、入水温度:60℃、出湯温度:64℃、加熱流量:16L/min

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

フロン排出抑制法の規定に関する表示

フロン排出抑制法 第一種特定製品	
1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。 2) 地球温暖化防止のため、この製品を廃棄・整備する場合には適正にフロン類を回収する必要があります。 3) この製品の、工場出荷時のフロン類の種類・数量・地球温暖化係数・二酸化炭素換算値などは「仕様表」に記載されています。	

フロン排出抑制法に基づく点検実施のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法に基づく点検を実施してください。
“点検整備記録簿”には、機器を設置した時から廃棄するまでのすべての履歴を記載してください。
費用など点検に関する詳細につきましては、お買い上げの販売店または業務用ヒートポンプ給湯機修理ご相談窓口にお問い合わせください。“点検整備記録簿”に関しては、下記サイト内にありますので、ダウンロードしてご使用ください。
一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会のホームページ：http://www.jarac.or.jp/

フロン排出抑制法に基づく簡易点検のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法により簡易点検が義務付けられています。
簡易点検は、四半期に一回以上、下記内容にそってお客様が実施してください。
簡易点検において、安全で容易に目視確認ができる場合を除いて、危険な場合は、お買い上げの販売店または業務用ヒートポンプ給湯機修理ご相談窓口にお問い合わせください。点検結果は機器を廃棄するまで、お客様で保管くださるようお願いいたします。

機器名	簡易点検項目
ヒートポンプユニット 再加熱ヒートポンプユニット	・ 機器の異常音、異常振動の有無 ・ 機器および機器周辺への油にじみ有無 ・ 機器外観の損傷、腐食およびさびの有無

機器に異常が発見された場合には、お買い上げの販売店または業務用ヒートポンプ給湯機修理ご相談窓口にお問い合わせください。

所有者のかたへ製品廃棄時のお願い

ヒートポンプユニットおよび再加熱ヒートポンプユニットは、「フロン排出抑制法」の第一種特定製品です。廃棄する時は「フロン排出抑制法」に基づき、フロン類の回収が必要です。第一種フロン類充填回収業者に回収の依頼をしてください。



保証とアフターサービス (必ずお読みください)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買い上げの販売店にご相談ください。**

販売店に修理のご相談ができない場合

**業務用
ヒートポンプ給湯機
修理ご相談窓口**

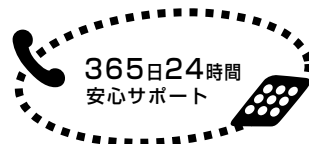
フリーダイヤル



0120-200-977

携帯電話・PHSからもご利用できます。

東芝キャリア受付センター



- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書 (別添)

この東芝業務用ヒートポンプ給湯機には、保証書を別途添付しております。

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この東芝業務用ヒートポンプ給湯機の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

(出張修理になります)

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電遮断器を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。ユニットの故障に起因した営業保証など間接的な損害についての保証はいたしかねます。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ヒートポンプ給湯機
形名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	電話番号 訪問希望日

記入されておくと便利です。

お買い上げ店名

電話番号

保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料・部品代・出張料などから構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。



愛情点検

長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検をぜひ！

このような
症状は
ありませんか。

- お湯の出が悪い。
- お湯が早くなる。
- 逃し弁の逃し管から昼間、常にお湯が流れている。
- 設置場所が常にぬれている。
- 時々、漏電遮断器が働く。
- その他の異常、故障がある。



ご使用
中 止

故障や事故防止のため、漏電遮断器を「切」にし、専用止水栓を閉じてから、必ずお買い上げの販売店に点検修理(有料)をご相談ください。

東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原 336 番地

<http://www.toshiba-carrier.co.jp/>